

拡大教授会

○ 報告事項

1. 総務委員会報告
2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告（総A1号）（総B1号）
3. 全学環境安全管理室等会議・事故災害報告（総B2号）
4. 各委員会報告（教B1号）（教B2号）（教B3号）（経B1号）（経B2号）（総B3号）（学B1号）
5. 2022年度教員評価について
6. 進学選択の結果について（教B4号）
7. その他

○ 議題

1. 女性人事加速サポート「2022年度人事マネジメント支援プログラム」の申請について（総B4号）
2. ネーミングプランの設置について（経B3号）

教授会

○ 議題

1. 教員人事の投票について
2. 次期研究科長予定者の選挙について（総B5号）

○ 教員人事

講	師	報	告	2件
准	教	報	告	8件
教	授	報	告	1件

計 11件

委員会関係

教務委員会

- ・2022 年度東京大学 9 月入学者数等 (PEAK) (教 B 1 号)
- ・2022 年度 A セミスター (A1・A2 ターム) 定期試験の実施について (教 B 2 号)
- ・2022 年度 A セミスター (A1・A2 ターム) 成績報告について (教 B 3 号)

財務委員会

- ・研究支援経費 (間接経費) の取扱いについて (経 B 1 号)
- ・コロナ対策経費の要求について (経 B 2 号)

教育研究経費委員会

情報基盤委員会

- ・次期 ITC-LMS と ECCS 端末について (総 B 3 号)

入試委員会

教養教育評価委員会

学生委員会

三鷹国際学生宿舎

運営委員会

- ・第 73 回駒場祭の開催について (学 B 1 号)

図書委員会

前期運営委員会

後期運営委員会

建設委員会

環境委員会

防災委員会

- ・環境整備について

その他の

拡大教授会および教授会議事要旨(案)

日 時 2022年9月15日(木) 15:00～16:23
場 所 Zoom会議
出席者 235名

議 題

○ 報告事項

1. 総務委員会報告

研究科長から、9月1日、9月15日開催の総務委員会について説明・報告があった。

2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告

研究科長から7月26日、9月6日開催の研究科長・学部長・研究所長合同会議について、資料(総A1号)(総B2号)に基づき説明・報告があった。

3. 全学環境安全管理室等会議・事故災害報告

環境安全管理室道上達男室長から、資料(総B3号)(総B4号)に基づき報告があった。

4. 各委員会報告

- ・工藤和俊教育研究経費委員会委員長から、第2回教育支援経費の申請について、資料(経B1号)に基づき説明があった。
- ・梶谷真司後期運営委員会委員長から、令和4年度教養学部卒業生数(令和4年8月31日付)について、資料(教B7号)に基づき報告があった。
- ・新井宗仁社会連携委員会委員長から、2022年度Aセメスター「高校生と大学生のための金曜特別講座」について、説明があった。

5. その他

- ・内田さやか研究科長補佐から、ホームカミングデイについて説明があった。
- ・研究科長から、役職者の交代等について、資料(総B5号)に基づき説明があった。
- ・研究科長から、成績判定への申立を行った学生案件について、説明があった。
- ・研究科長から、国葬に係る対応について、説明があった。

遠藤智子研究科長補佐から、9月退任の挨拶があった。

地域文化研究専攻速水淑子准教授から、9月1日付着任の挨拶があった。

広域システム科学系木下卓巳講師から、8月1日付昇任の挨拶があった。

附属グローバルコミュニケーション研究センター根本愛子准教授から、9月1日付昇任の挨拶があった。

○ 審議事項

1. 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部の教員の任期に関する規則の一部改正

月脚達彦副研究科長から、資料(総A2号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

2. 東京大学大学院総合文化研究科に置かれる講座の組織を定める内規の一部改正

月脚達彦副研究科長から、資料(総A3号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

3. 東京大学における教員の任期に関する規則の一部改正

月脚達彦副研究科長から、資料(総A4号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

4. 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部の教員の任期に関する規則の一部改正

月脚達彦副研究科長から、資料(総B6号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

5. 東京大学における教員の任期に関する規則の一部改正

月脚達彦副研究科長から、資料(総B7号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

6. 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部建設委員会規則の一部改正

真船文隆副研究科長から、資料(経B2号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

7. 2023年度授業日程について

柳原大教務委員会委員長から、資料(教B3号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

8. 東京大学とボン大学との学術交流協定の更新について

石井剛教授から、資料（教B 1 号）に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

以下、教授会構成員対象の議題です。

1. 教員人事

講	師	報	告	1 件
准	教 授	提	案	2 件
		報	告	4 件
教	授	報	告	1 件

計 8 件

以上

議題及び資料

01	学内外情勢	総長
	(資料1) 学内外情勢	
02	2022年度スタートアップ・スキルアップ・リスタートアップ支援の採択結果 * 報告	林理事
	(資料2) 2022年度スタートアップ・スキルアップ・リスタートアップ支援の採択結果について(報告)	
03	2022年度後期ワーク・ライフ・バランス支援のための研究者サポート要員配置助成の採択結果 * 報告	林理事
	(資料3) 2022年度後期ワーク・ライフ・バランス支援のための研究者サポート要員配置助成の採択結果について	
04	東京大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言リーフレット * 報告	林理事
	(資料4) 東京大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言リーフレット	
05	東京大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言制定記念シンポジウム * 報告	林理事
	(資料5) 東京大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言制定記念シンポジウム～多様性の現在地と未来～	
06	Race to Zero 達成に向けた行動計画公表にあたっての意見募集 * 報告	大久保理事
	(資料6) (再掲・締切延長)Race to Zero達成に向けた行動計画公表にあたっての意見募集	
07	ウクライナ侵攻を受けた「学生・研究者の特別受入れプログラム」の対応状況報告 * 報告	林理事
	(資料7) ウクライナ侵攻を受けた「学生・研究者の特別受入れプログラム」対応状況	
08	MOOCスタートガイドパンフレット * 報告	浅見副学長
	(資料8) MOOC Startup Package	
09	出張等における必要経費の支出 * 報告	相原理事
	(資料9) 出張等における必要経費の支出について	
10	旅費の適正な執行管理 * 報告	齊藤理事
	(資料10) 10-1:旅費の適正な執行管理について、10-2:(別添)旅費の支払い方法について	
11	令和4年度本部防災訓練の実施 * 報告	岸執行役
	(資料11) 11-1:令和4年度本部防災訓練の実施について(通知)、11-2:【別紙】令和4年度本部防災訓練の概要、11-3:令和4年度本部防災訓練防災イベントのご案内	
12	災害時を想定した全学一斉メールによる安否確認訓練の実施 * 報告	岸執行役
	(資料12) 災害時を想定した全学一斉メールによる安否確認訓練の実施について(依頼)	
13	第1回情報セキュリティセミナー開催報告 * 報告	今泉理事
	(資料13) 2022年度第1回情報セキュリティセミナー開催報告(学内限り)	
14	標的型攻撃メール訓練の実施 * 報告	今泉理事
	(資料14) 標的型攻撃メール訓練の実施に向けたご協力について(依頼)(学内限り)	

議題及び資料

15	東京大学ニューヨークオフィス(UTokyoNY) UTokyoWeeks イベント開催案内 * 報告 (資料15) 東京大学ニューヨークオフィス(UTokyoNY) UTokyoWeeks イベント開催案内	津田執行役
16	UTokyo Green Transformation ロゴの決定 * 報告 (資料16) UTokyo Green Transformation ロゴの決定	武田執行役
17	150周年ロゴの決定 * 報告 (資料17) Logo proposal for UTokyo 150th anniversary	武田執行役
18	寄付講座、社会連携講座及び国立研究開発法人連携講座等の設置等 * 報告 (資料18) 寄付講座、社会連携講座及び国立研究開発法人連携講座等の設置等	齊藤理事
19	その他 (1) Beyond AI 研究推進機構 第2回研究成果発表会 (資料19) Beyond AI 研究推進機構 研究成果発表会	齊藤理事
	(2) University Press Week／大学出版局と英文図書刊行の週(11月7日～11日)のご案内 (資料20) University Press Week／大学出版局と英文図書刊行の週	齊藤理事
	(3) 第21回ホームカミングデイ (資料21) 2022第21回東京大学ホームカミングデイの開催について	津田執行役
	(4) 令和4年度「東大の研究室をのぞいてみよう！～多様な学生を東大に～」プログラムの実施 (資料22) 22-1:「東大の研究室をのぞいてみよう！～多様な学生を東大に～」プログラムの実施、22-2:(参考) 令和3年度協力研究室	津田執行役

議題及び資料

- | | |
|---|----------|
| 01 学内外情勢 | 総長 |
| (資料1) 学内外情勢 | |
| 02 和歌山県との全学協定締結 | 津田執行役 |
| * 審議 | |
| (資料2) 全学協定・覚書締結計画書(和歌山県) | |
| 03 「新しい大学モデル構想(ブループリント)(素案)」への意見照会および未来構想事業の更新見直し・新規提案 | 太田理事 |
| * 報告 | |
| (資料3) 「新しい大学モデル構想(ブループリント)(素案)」への意見照会および未来構想事業の更新見直し・新規提案について(依頼) | |
| 04 フランス国立科学研究センターとの合意書(Letter of Intent)の締結 | 齊藤理事 |
| * 報告 | |
| (資料4) フランス国立科学研究センター(CNRS)との合意書(Letter of Intent)の締結について | |
| 05 連携研究機構(構造生命科学連携研究機構)の変更 | 齊藤理事 |
| * 報告 | |
| (資料5) 構造生命科学連携研究機構の概要 | |
| 06 学術誌「転換契約」の試行 | 坂井附属図書館長 |
| * 報告 | |
| (資料6) 学術誌「転換契約」の試行について | |
| 07 大学ポートレートの教員数の部局別男女別等のデータ公開の現状と今後の対応 | 太田理事 |
| * 報告 | |
| (資料7) 大学ポートレート 教員数の部局別、男女別等のデータの公開の現状と今後の対応 | |
| 08 東京大学事業化推進助成制度(東京大学GAPファンドプログラム)第12期公募 | 渡部執行役 |
| * 報告 | |
| (資料8) 東京大学GAPファンドプログラム公募要領 | |
| 09 2023年度本学卒業・修了予定者(2024年3月卒業・修了予定者)の就職・採用活動に係る企業等への要請文 | 藤垣理事 |
| * 報告 | |
| (資料9) 2023年度本学卒業・修了予定者(2024年3月卒業・修了予定者)の就職・採用活動について(要請) | |
| 10 学内に存在する文化資産に関する調査 | 大久保理事 |
| * 報告 | |
| (資料10) 学内に存在する文化資産に関する調査について(依頼) | |
| 11 2022年度・第2期 東京大学ニューヨークオフィス(UTokyoNY)イベント選定結果報告 | 津田執行役 |
| * 報告 | |
| (資料11) 2022年度・第2期東京大学ニューヨークオフィス(UTokyoNY)イベント選定結果について | |
| 12 相談支援研究開発センターのアウトリーチ活動 | 林理事 |
| * 報告 | |
| (資料12) 令和4年度学生相談ワークショップの開催について | |
| 13 ダイキン東京大学産学協創フォーラムの開催 | 相原理事 |
| * 報告 | |
| (資料13) ダイキン東京大学産学協創フォーラム | |
| 14 その他 | 齊藤理事 |
| (1) 2023年度東京大学学術成果刊行助成(東京大学而立賞)の募集 | |
| (資料14) 令和5(2023)年度東京大学学術成果刊行助成(東京大学而立賞)の募集について(通知) | |

2022年10月全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

・休業4日以上

- 22130I** M2 院生(男性:23 歳);地質調査中にハンマーで石を割ろうとしたが、目測を誤って石を押さえていた自分の右足を打った。(休業1月)
- 22165I** M2 院生(男性:23 歳);玄関ホールの段差に躓いて転倒し、頭部を強打した。(休業 22 日)

・休業4日未満

- 22111M** 医療職員(女性:25歳);駐輪禁止の規制ロープに足を引っ掛け転倒し、手足に切創と擦過傷を負った。(休業 3 日)

・不休業事故・災害

- 22131F** 学部3年(男性:23 歳);実習で枝を切り落とす作業中、鋸の刃先が左手首に接触し、裂傷を負った。
- 22132F** 特任専門職員(女性:59 歳);居室の床にあったパソコンに躓き、近くに置いてあったファイルケースの角に左足首をぶつけて裂傷を負った。
- 22134F** 学術専門職員(女性:38 歳);縁欠けに気づかずにガラスビーカーを洗浄していたところ、右手母指をひっかけて割創を負った。
- 22142F** 技術補佐員(女性:35 歳)長時間放置されていたポリ瓶の蓋を閉める際、劣化した瓶が破損し、中身(濃硝酸)が体に飛び散り化学火傷を負った。
- 22143F** 医療職員(女性:31 歳);MRI の寝台上の患者の位置を調整していたところ、背中を痛めた。
- 22144F** D4 院生(男性:28 歳);流し台前の床にこぼれていた水で、滑って転倒。机に頭部を強打した。
- 22146F** 技術職員(男性:54 歳);人工林で収穫調査をしていた際に、臀部をスズメバチに刺された。
- 22147F** 用務補佐員(男性:42 歳);草取りをしていた際に、左手親指をスズメバチに刺された。
- 22148F** 院生3名(男性、女性);建物の停電のため、カセットボンベガス式の発電機を使用していたところ、頭痛や吐き気、めまいがした。(一酸化炭素中毒の疑い)
- 22149F** 医療職員(男性:29 歳);CT の寝台に患者を移動させようとして前かがみになったところ、腰を痛めた。
- 22152F** 医療職員(女性:36 歳);薬品に漬けおきしていた検査機器部品を取り上げた際に、薬品が飛散し右眼に入った。
- 22153F** M2 院生(男性:23 歳);着席した状態で化学実験をしていたところ、メスシリンダーの底部に付着していたギ酸が数滴膝上に落ち、化学火傷を負った。
- 22155F** 教務補佐員(女性:55 歳);業務で花壇内を歩行中、濡れた地面に足をとられ滑って転倒した。
- 22158F** 技術職員(男性:36 歳);林道での刈払い作業中に、腕をハチに刺された。
- 22162F** 大学院外国人研究生(男性:24);ブタから採血した後のシリンジを受け取ろうとして手を伸ばしたところ、針が指に刺さり出血した。
- 22166F** M1 院生(男性:22 歳);滅菌のために手指に消毒用アルコールを噴霧。間を置かずに(用具の火炎滅菌のために)ライターに火を点けたところ、気化せず右手に残留していたアルコールに引火して火傷を負った。

・通勤災害

- 22145J** 事務職員(女性:43 歳);出勤時、貧血症状のため、建物入口付近の段差に躓き転倒した。
- 22150J** 准教授(男性:46 歳);帰宅時、自転車で横断歩道を横断しようとしたところ、信号無視の自転車と接触して横転した。
- 22157J** 事務職員(女性:58 歳);出勤時、自転車でカーブを曲がる際に強風に煽られ転倒した。(休業 29 日)
- 22159J** 医療職員(女性:35 歳);出勤時、電車の座席に座っていたところ、他の乗客の荷物の下敷きとなり足小指を受傷した。

・ヒヤリハット

- 22129H** 実習船上で採泥器を使用していたところワイヤーが切断。採泥器から外れて勢いのついたワイヤーが頭部に当たった。(ヘルメットを着用しており怪我はなし)
- 22139H** 建物前の道路に上階からプラスチックケースが落下し、配送業者のトラックの目前に落ちた。
- 22160H** 室外機の修理時、バルコニーの手すりに修理業者の腰道具が引っかかりドライバーが落下。下のドライエリアで作業中の職員の目前に落ちた。

・その他

- 22164S** 学外者(男性:21 歳);枯れ枝が落下し、ベンチに座っていた被災者の額にぶつかった。

・人的被害なし、設備災害でない小火

- 22137Nf** レーザー加工機でアクリル板を切断加工していたところ、アクリル板に火が付いた。
- 22151Nf** 充電中のコンデンサーが破裂し火が上がった。(コンデンサーは 50 年ほど前に製造されたもので PCB を含有している可能性あり)

・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

- 22133Nd** 公用車を運転して構外の駐車場に入る際、左前輪が側溝に脱落し、ホイールに傷がついた。
- 22138Nd** ドローンを海上で飛行させていたところ、飛行アプリが作動停止し、ドローンが墜落した。
- 22141Nd** テラス席のテーブルが焼損しているのが発見された。(監視カメラの映像から、深夜に構外からの侵入者が行ったものと推測される。)
- 22154Nd** ドラフトチャンバー内の給水ホースの破損により漏水し、2階から地階まで水が到達した。
- 22156Nd** 他の研究室から譲り受けた中古の電気炉で漏電が発生した。
- 22161Nd** 2階廊下の給水バルブが腐食のため漏水。1、2階の廊下や居室等が浸水した。

・人的被害なし、設備災害でない有害物（臭）流出あり

- 22135NI** 3D プリント造形モデルの洗浄機の底に溜まった沈殿物を除去するため、イソプロピルアルコールで溶解しようとしたところ、アルコールが洗浄機から漏れた。

以上 教養学部等環境安全管理室

2022年度東京大学9月入学者数等(PEAK)

2022年10月6日 現在
教務課国際化推進チーム

入学者数等		
科類	合格者数 (条件付合格者を含む)	入学者数 (全員、進学選択対象外)
文科三類(PEAK)	31 (34)	14(15)
理科二類(PEAK)	28 (30)	15(23)
計	59 (64)	29(38)

注)()内は昨年度人数

奨学金受給者内訳								
奨学金名	国費 優先配置	東大 スカラシップ	STEM菊池*	Subaru*	ローソン*	日本調剤*	学習奨励費 (R4.9-R5.3)	合計
文科三類(PEAK)	1(2)	4(4)	0 (0)	0(0)	0(0)	0(0)	4(3)	9(9)
理科二類(PEAK)	2(2)	4(6)	0 (0)	0(0)	0(0)	0(0)	4(4)	10(12)
計	3(4)	8(10)	0 (0)	0(0)	0(0)	0(0)	8(7)	19(21)

注1)()内は昨年度人数

注2)*は、今年度設定がないもの。

国籍内訳			
国籍	合格者数		入学者数
中国	17	(16)	6 (3)
日本	14	(12) ※1	10 (16)
韓国	8	(10)	5 (8)
アメリカ	8	(1) ※2	2 (2)
イギリス	4	(6)	2 (2)
シンガポール	2	(1)	1 0
台湾	2	(1)	1 (1)
フィリピン	1	(2)	0 (1)
カナダ	1	(0) ※3	1 (2)
スペイン	1	(0) ※4	0 (1)
トルコ	1	(0)	1 (1)
インド	0	(3)	0 0
オーストラリア	0	(2)	0 (1)
ドイツ	0	(2)	0 0
マレーシア	0	(2)	0 0
バングラデシュ	0	(1)	0 (1)
ブルガリア	0	(1)	0 0
フランス	0	(1)	0 0
インドネシア	0	(1)	0 0
モンゴル	0	(1)	0 0
ニュージーランド	0	(1)	0 0
その他	0	(0)	0 0
計	59	(64)	29 (39)

注1)()内は昨年度人数

注2)合格者数:願書の国籍欄の第一番目に記載された国籍でカウント。

注3)入学者数:日本の滞在資格に基づく国籍でカウント。(日本国籍を持つ学生は、日本。留学生は、ビザの取得根拠となっている国籍。)

※1 日本と中国の二重国籍者2人、日本とロシアの二重国籍者1人を含む

※2 アメリカと日本の二重国籍者2人、アメリカと韓国の二重国籍者1人、アメリカと台湾の二重国籍者1人を含む

※3 カナダとイギリスの二重国籍者1人を含む

※4 スペインとフランスの二重国籍者1人を含む

教 員 各 位

東京大学教養学部

Aセメスター（A1 ターム・A2 ターム） 定期試験の実施について

2022年度Aセメスター定期試験を下記により実施します。定期試験を実施される先生方は下記を必ずご一読のうえ、試験の実施方法等や問題提出のスケジュールをご確認いただき、定期試験の準備を開始いただくようお願いいたします。

記

（１）繰り上げ試験（平常授業時間割によって実施する試験）の場合

以下の科目は、原則、最終授業日までの平常授業時間に実施願います。

- ・基礎科目 「英語二列」、「日本語」
- ・総合科目 L系列「外国語初級・中級・上級」、「古典語初級・中級」
- ・主題科目

実施の際は、（別紙１）「繰り上げ試験の実施について」に記載されている事項について、ご留意ください。

試験監督は授業担当教員（非常勤教員を含む）をお願いしております。

教務課に問題印刷を依頼する場合は、３ページ目の「試験問題に記載する事項」を原稿に明記の上、試験日の３日前（土・日・祝日を含まない）の正午までに試験問題を教務課前期課程チームまで提出してください。

（２）本試験（試験時間割によって実施する試験）の場合**<試験期間>**

Aセメスター開講科目：1月24日（火）～2月2日（木）※土日除く。2月10日（金）は予備日

A1 ターム開講科目：11月28日（月） ※12月3日（土）は予備日

A2 ターム開講科目：1月31日（火）～2月2日（木）※土日除く。2月10日（金）は予備日

<実施形態>

原則、対面試験を実施します。

<本試験実施にあたっての事前準備>

○ 試験時間、問題印刷の有無、解答用紙の種類、持ち込みの可否（教科書、物品等）については、UTASの「成績・定期試験」→「定期試験（前期課程）」→「試験実施内容調査」（回答必須）にご回答ください。教務課前期課程チームで行う事前準備及び試験当日の業務はご回答いただいた内容に基づいて行われます。

○ 試験時間割は（別紙２）をご覧ください。

○ 本試験の試験監督の割当については、後日、試験監督日程調査にてご都合をお伺いします。

○ 試験実施内容調査回答期限及び試験問題提出期限

A1 ターム開講科目： 11月14日（月）正午

Aセメスター/A2 ターム開講科目： 1月 6日（金）正午

※試験監督への留意事項等がある場合には、上記期限までにご提出ください。

○ 試験問題の印刷については（４）をご参照ください。

※電子ファイルにてご提出いただく場合、下記フォームに PDF 形式でアップロードをお願いいたします。

【問題提出用フォーム】※ファイル名を「授業科目名_担当教員名」としてください。

<https://forms.office.com/r/mqi8PKATvG>

（３）定期試験（本試験）の実施時間について

定期試験（本試験）時間は下記のとおりです。

試験の開始時刻は、90分授業の開始時間から10分繰り下げた時刻となりますので、ご注意ください。

時限	定期試験（本試験）時間 ※試験時間 90 分の場合	（参考）授業時間 ※90 分のコアタイム	（参考）授業時間 ※従来の 105 分授業
1 時限	8 時 40 分～10 時 10 分	8 時 30 分～10 時 00 分	8 時 30 分 ～ 10 時 15 分
2 時限	10 時 35 分～12 時 05 分	10 時 25 分～11 時 55 分	10 時 25 分 ～ 12 時 10 分
3 時限	13 時 25 分～14 時 55 分	13 時 15 分～14 時 45 分	13 時 00 分 ～ 14 時 45 分
4 時限	15 時 20 分～16 時 50 分	15 時 10 分～16 時 40 分	14 時 55 分 ～ 16 時 40 分
5 時限	17 時 15 分～18 時 45 分	17 時 05 分～18 時 35 分	16 時 50 分 ～ 18 時 35 分

（４）試験問題の印刷について

教務課に印刷を依頼する場合

UTAS「成績・定期試験」→「定期試験（前期課程）」→「試験実施内容調査」（回答必須）に必要事項を入力の上、試験問題提出期限（A1 ターム開講科目： 11月14日（月）正午、Aセメスター/A2 ターム開講科目： 1月 6日（金）正午）までに、原稿を教務課前期課程チームに提出してください。
※試験問題印刷には専用の印刷機を使用しておりますのでステープル(ホチキス)留め・カラー印刷はできません。

※試験問題には、次ページ「試験問題に記載する事項」を明記願います。

教務課での印刷が不要な場合・問題提出期限に遅れた場合

UTAS「成績・定期試験」→「定期試験（前期課程）」→「試験実施内容調査」（回答必須）にその旨ご回答いただいたうえで、試験日の3営業日前（土・日・祝日を含まない）までに教員自ら履修者数分＋予備（◆1）の試験問題をコピーして、印刷済の試験問題を教務課前期課程チームに提出してください。教員が試験問題を直接試験会場に持参することは認められません。

◆1 5部×試験教室数＋1部（教務課保管分）

※試験問題には、下記「試験問題に記載する事項」を明記願います。

※履修者数は、UTAS「履修」→「履修者名簿出力」から確認できます。

※授業期間中（補講日を含む）は1号館2階の非常勤講師控室でコピーが可能です。

授業期間外は控室が閉室しておりますので、お手数ですがご自身でコピーをお願いします。

以 上

試験問題に記載する事項 **※試験問題には以下の事項を記載願います**

- ① 科目名 ② 教員名
- ③ 試験実施月日・時限・試験時間
- ④ クラス指定科目の場合は指定クラス
- ⑤ 学生に配付する解答用紙・計算用紙の枚数

「1枚」の場合：B4版両面1枚

「2枚」の場合：A4版両面2枚（冊子）

「3枚」の場合：A4版両面3枚（冊子）

「4枚」以上の場合：上記の「2枚」、「3枚」を組み合わせる。

解答用紙の追加配付は認められませんので、解答用紙の不足が見込まれる場合には、あらかじめ多めに枚数を指定してください。

- ⑥ 持込みを認める場合は別紙「試験時における持込についての申し合わせ」を参照してください。

（記入例）

科目名 ●●●●●●		教員名 ●● ●●		●月●日●時限 試験時間●分	
指定クラス ●科●類●組		解答用紙 ●枚	計算用紙 ●枚		持ち込み 有・無

記入例のテンプレート：（以下をご利用ください）

<https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/shiken/examinfo-template.docx>

試験実施内容調査入力マニュアル

UTAS

<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

- ① 上記のURLからログイン画面に進み、ID・パスワードを入力しUTASにログインしてください。
- ② 画面上部のメニューから「成績・定期試験」の項目をクリックし、「定期試験（前期課程）」のプルダウンメニューから「試験実施内容調査」をクリックしてください。
- ③ 入力したい科目の科目名横にある「入力」をクリックし、「試験問題の印刷」、「解答用紙・計算用紙の枚数」、「持ち込み可否」、「試験時間」などの項目を入力してください。
- ④ ③の項目の入力が終わり、入力内容に変更のない場合は「確定画面へ」のボタンをクリックし、登録してください。
内容が未確定の場合は、「一時保存」のボタンをクリックすると入力状態が保存されます。（締切日を過ぎても「一時保存」として登録されているものは締切日翌日に「確定」したものとして処理されます。）

試験問題実施内容調査回答及び試験問題提出期限

A1ターム開講科目・・・・・・・・・・ **11月14日（月）正午**

Aセメスター/A2ターム開講科目・・・・ **1月6日（金）正午**

※繰り上げ試験の場合は試験実施内容調査への回答は不要です。

試験時における持込についての申し合わせ

2004.11.18 教務委員会了承

○試験時における持込について次のとおり取り扱うこととする。

- ・持込は、全て不可、もしくは、全て可、を原則とする。
- ・全て持込可（特例としての一部可を含む）の場合、科目担当教員が試験監督を行うこととする。なお、病気等やむを得ない事情がある場合には、代理監督を立て、事前に持込可否について十分な周知を行うこととする。また、代理監督を立てた場合は、代理監督及び応援監督に監督を一任する。
- ・特例としての一部持込可の場合、試験時に持込を認める物品が何か、授業の際に学生に対し十分な周知を行うこと。
- ・持込を認める物品については、試験開始前に全て机に出させ、試験時間中の出し入れは認めない。

経緯説明

試験時における持込について、当該科目の担当教員が監督を行えず、応援監督が試験を実施する際、持込を認める物品として担当教員から申し出された、手書きノート、講義で配布したプリント、書き込みの無い六法等など、持込を認められた物品であるかどうかの確認が試験時間中に行えないなどの問題がある。また、履修者が多い科目等、複数教室で同時に試験実施した際、教室間で、監督者の判断に食い違いが生じる恐れもあり、公平性を期するため、持込に関する取り扱いを定めたものである。

To Course Instructors

College of Arts and Sciences
The University of Tokyo

Guidelines for the Regular Examinations (A Semester (A1/A2 Term))

The following are the guidelines for Regular Examinations for A Semester (A1/A2 Term) 2022. Please read through the guidelines and check the exam forms, submission schedule and prepare for the Regular Examination if you will be implementing Last-Class Exam (*Kuriageshiken*) or Exam-period Exam (*Honshiken*).

(1) Last-Class Exams (*Kuriage-shiken*) : held during the regular class

Examinations for the following courses should be implemented during **the regular class, by the end of term/semester:**

(April-entry student's courses)

English 2/ Japanese/Languages (Introductory/ Intermediate/ Advanced) in International Communication / Classical Languages (Introductory/ Intermediate) in Group L Integrated Courses / Thematic Courses

(PEAK Courses)

Foreign Languages (English/Japanese) in Foundation Courses/ Languages (Introductory/ Intermediate/ Advanced), Applied Japanese in Group L, Integrated Courses/ Thematic Courses

Please follow the “Instructions to Implement Last-Class Exams” (Attachment) for implementation.

Course instructors (including part-time instructors) are requested to invigilate the exams for their own courses.

If you are requesting the Academic Affairs Division to make copies of the exam papers, provide the necessary information (listed on page 3, under “Exam Information”) on the exam papers, and submit the exam papers to the Academic Affairs Division **by noon, at least three days prior to the exam day (allow extra time for Saturdays, Sundays and national holidays).**

(2) Exam-Period Exams (*Hon-shiken*) : held during the specified exam period

< Exam Period >

A Semester courses : January 24 (Tue) ~ February 2 (Thu)

*Except for Saturday and Sunday. Extra day: February 10 (Fri.)

A1 Term courses : November 28 (Mon) *Extra day: December 3 (Sat.)

A2 Term courses : January 31 (Tue) ~ February 2 (Thu)

*Except for Saturday and Sunday. Extra day: February 10 (Fri.)

< Exam delivery modalities>

In principle, in-person examinations will be conducted.

< Preparation for Exam-Period Exams (Hon-shiken)>

*Please be sure to register the information of exams (duration, no. of answer sheets needed, items permitted to bring in to exam etc) through UTAS (Log in→"Grade"→"Exam-Period Exam"→"Register information of exams"). Registered information will be referred for preparing the exam at PEAK/GPEAK Section and Junior Division Section prepare for the exam.

*Refer to the attached sheet for the exam schedule for each course.

*A notice of the assignment of invigilators for exam-period exams will be sent out by e-mail at a later date.

*Deadline for registering the information of exams and submitting exam papers:

A1 Term courses: Noon, November 14 (Mon)

A Semester & A2 Term courses: Noon, January 6 (Fri)

*If you have any handouts related to instructions for invigilators, please also submit the original copy to Academic Affairs Division office (PEAK courses: to PEAK/GPEAK Section, other courses: to Junior Division Section) by the deadline above.

*Refer to (4) for making copies of exam papers.

*If submitting the exam paper by data, please upload the **PDF file** to the following URL.

The data file name should include "Course title_Instructor name".

(e.g. Biology_TODAITaro.pdf)

【URL for submitting exam paper data】

https://webfs.adm.u-tokyo.ac.jp/public/GXYMwsWIaw_PHYttyROpuhVYatUKdloqnL4HPcId11ZF

(3) Regular Exam (Exam-Period Exam) Time

Note that the starting time of each exam period is brought down by 10 minutes compared to the class hours. The Regular Exam (Exam-period Exam) time is as follows.

Period	Regular Exam (Exam-period Exam) Time *In the case, exam duration is 90 minutes	(Reference) Class Hours *90minutes	(Reference)Class Hours *105minutes
Period 1	8 : 40 a.m. ~ 10 : 10 a.m.	8 : 30 a.m. ~ 10 : 00a.m.	8 : 30 a.m. ~ 10 : 15 a.m.
Period 2	10 : 35 a.m. ~ 12 : 05 p.m.	10 : 25 a.m. ~ 11 : 55 p.m.	10 : 25 a.m. ~ 12 : 10 p.m.
Period 3	1 : 25p.m. ~ 2 : 55 p.m.	1 : 15 p.m. ~ 2 : 45 p.m.	1 : 00 p.m. ~ 2 : 45 p.m.
Period 4	3 : 20 p.m. ~ 4 : 50 p.m.	3 : 10 p.m. ~ 4 : 40 p.m.	2 : 55 p.m. ~ 4 : 40 p.m.
Period 5	5 : 15 p.m. ~ 6 : 45 p.m.	5 : 05 p.m. ~ 6 : 35 p.m.	4 : 50 p.m. ~ 6 : 35 p.m.

(4) Making Copies of Exam Papers

Requesting Academic Affairs Division to make copies

Provide the necessary information by filling out and registering the information of exams through UTAS (“Grade” → ” Exam-Period Exam” →” Register information of exams”) and submit the original copy of the exam papers to Academic Affairs Division (PEAK courses: to PEAK/GPEAK Section, other courses: to Junior Division Section) by the designated deadline.

***Deadline for submission:**

A1 Term courses: Noon, November 14 (Mon)

A Semester & A2 Term courses: Noon, January 6 (Fri)

*Please note that the printing equipment used does not allow for stapling and color copies.

*On the exam paper, please provide the “Exam Information” specified on the following page.

Not requesting Academic Affairs Division to make copies or Did not meet the submission deadline

Provide the necessary information through UTAS (“Examinations” → ” Exam-Period Exam” →” Register information of exams”), make copies of the exam papers by yourself (the number of examinees + extra copies (◆1)) and submit them to the Academic Affairs Division **at least three days prior to the exam date (allow extra time for Saturdays, Sundays and national holidays)**. **You are not allowed to bring the exam papers directly to the exam room.**

◆1 (5 extra copies * Number of exam rooms) + 1 extra copy (for Academic Affairs Division archive)

*On the exam paper, please provide the “Exam Information” specified on the following page.

*Refer to UTAS “Course” → “Class List” for the number of examinees.

*Copying equipment is available in the Part-Time Instructors’ Room (Hijokin-Koshi-Hikaeshitsu) on the second floor of Building 1 during the regular class period (including supplementary class periods).

Besides the regular class period, the Part-Time Instructors’ Room will be closed and you will be required to make the copies elsewhere by yourself.

Exam Information

*Provide the following information on the exam paper

1. Course title

2. Course instructor

3. Exam date/ period/ duration

4. Designated stream/ class, if any

5. The number of answer sheets and calculation sheets per student

1 sheet : 1 B4 sheet, printed on both sides (Japanese/ English version)

2 sheets: 2 A4 sheets, printed on both sides (leaflet type) (Japanese/ English version)

3 sheets: 3 A4 sheets, printed on both sides (leaflet type) (Japanese/ English version)

4 or more: combination of the “2 sheets” and “3 sheets” above

6. Items permitted to be brought in to the exam

Be sure to refer to the attached “Faculty Agreement on items permitted in exams” if you permit any items to be brought in to the exam.

(Sample)

Course title XXXXX		Course instructor XXXX XXXX		Date <u>XX XX</u> Period <u>X</u> Duration <u>XX</u> min.
Stream/ Class No. NS / HS I / II / II No. XX	# of answer sheets X	# of calculation sheets X		Items permitted in exams Y / N

The sample template is available on the following web page:

<https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/shiken/examinfo-template.docx>

Manual for Register Information of Exams

UTAS

<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

1. Go to the web page above, enter your ID and password to log into UTAS.
2. Click **“Grade”** from the menu on the top of the screen, then click **“Exam-Period Exam”**. Then choose **“Register information of exams”**.
3. Please enter the following exam details: **“Exam papers printed by Academic Affairs Division”**, **“Answer Sheets”**, **“Calculation Sheets”**, **“Items students may bring in to exam”**, **“Duration”** etc.
4. After entering all the necessary information and making sure all items are correct and accurate, click **“Next”** to register. If the information is correct, click **“Confirm”**.
If the information is uncertain, click **“Save Temporarily”** and the data is stored temporarily. (Any data registered as “Save Temporarily” will be processed as “Confirm” after the registration deadline.)

Deadline for “Register information of exams” and submission of exam papers

A1 Term courses **Nov. 14 (Mon) noon**

A Semester/ A2 courses **Jan. 6 (Fri) noon**

* Registering exam information is unnecessarily for Last-class exams. If you are requesting to make copies, submit exam papers to the Academic Affairs Division at least three days prior to the exam date and provide exam details, such as the number of answer sheets etc.

Faculty Agreement on items permitted in exams

(Approved by the Academic Affairs Committee 教務委員会 on Nov. 18, 2004)

- The following rules shall apply regarding the permission to bring such materials as textbooks and dictionaries into the exam.
 - All exams are, in principle, either “all-open” (no restriction on materials allowed) or “all-closed” (no auxiliary materials allowed).
 - For an open-book exam (“all-open” exams, as well as “partially-open” exams which are permitted under special circumstances), the course instructor shall be the invigilator. If the course instructor is unable to supervise the exam due to illness or some other unavoidable cause, a substitute invigilator shall supervise the exam in his/her place. In such a case, the course instructor shall communicate well with the substitute so that the latter is fully aware whether the exam is open-book or not, and shall leave the conduct of the invigilation to the discretion of the substitute and assistant invigilators.
 - In a special case where partially-open exam is permitted, the course instructor shall specify in class what exactly may be brought into the exam.
 - All the items allowed must be on the desk before the start of the exam. Taking items in and out during the exam is not permitted.

***Background**

In a case where the course instructor cannot supervise an open-book exam, the substitute or assistant invigilator may not be able to check whether the items students have on the desks are actually the items allowed and specified by the instructor (e.g. notebook, course handouts, digest of Japanese Laws (*Roppo*) without annotation) within the duration of the exam. Furthermore, when the exam for the same course is conducted in more than one room for such reasons as the large number of examinees, there may be some differences of judgment among the invigilators of different rooms. This agreement was made in order to avoid such problems.

教 員 各 位

東 京 大 学 教 養 学 部

A セメスター／A1・A2 ターム成績報告

2022 年度 A セメスター／A1・A2 ターム成績は下記のとおり成績報告等をよろしくお願いします。

記**(1) 成績報告**

成績は下記期日までに UTAS 「成績・定期試験」→「成績登録」から報告してください。

期限に遅れた場合は進学・進級判定に多大な影響を与えますので、締切日を厳守してください。

成績報告期限に海外などへ渡航予定の方は、成績報告期限よりも早めにご対応をお願いいたします。

1・2 年生、編入生、PEAK 1・2 年生 A1 ターム 成績報告期限

: 12月5日(月) 正午

1・2 年生、編入生、PEAK 1・2 年生 A セメスター／A2 ターム 成績報告期限

: 2月14日(火) 正午

(2) 成績評価の確認

学生は成績が不合格（不可、不合格、欠席）の科目は、UTAS を通じて「成績評価の確認」を申請することができます。操作方法等の詳細については2 ページ目以降を参照ください。

訂正があった場合、内容によっては進学・進級に影響するため、締切日の厳守をお願いいたします。

学生の成績評価の確認願申請期間：3月9日（木）～10日（金）16時50分

教員の回答期限：3月14日(火) 午前9時

(3) 成績評価に関する申し合わせと理由書

「優」及び「優上」を合わせて受験者の 20%～40%の範囲を超えた場合の理由書は、所定の様式を使用することになっております。詳細は以下を参照ください。(UTAS 掲示板からも確認できます)

・成績評価に関する申し合わせ：https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/seiseki/seiseki_moushiawase.pdf

・理由書様式：<https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/seiseki/riyuusho.xls>

※理由書は、前期課程各部会開講科目は部会主任まで、各学部開講総合科目は教務課まで提出ください。

(4) 答案等の管理

試験終了後の答案（レポート等も含む）や出欠簿等採点の根拠となる資料に関して、必ず1年間の保管をお願いいたします。

以 上

To Faculty Members

College of Arts and Sciences
The University of Tokyo**Guidelines for Grade Reporting (A Semester & A1 Term & A2 Term)**

The following are the guidelines for grade reporting for A Semester, A1 Term and A2 Term, 2022.

(1) Grade Reporting

Please make sure to register students' grades on UTAS (“Grades” → “Register grades”) by the deadlines below.

Strictly observe the deadlines, as grades submitted after the deadlines will not be reflected in the decision's made on the student's status especially for advancement and matriculation procedure to second year or Senior Division. Those going abroad during the grade reporting periods are requested to make sure that they submit all grades well in advance of the deadline.

Deadline for A1 Term

April-entry (1st & 2nd year) & PEAK (1st & 2nd year) Students: Noon, Dec. 5 (Mon)

Deadline for A Semester & A2 Term

April-entry (1st & 2nd year) & PEAK (1st & 2nd year) Students: Noon, Feb. 14 (Tue)

(2) Grade Confirmation Request

Students may request grade confirmation through UTAS if their grade was Fail (F/Fail or Absent). Refer to the following pages for details on the grade confirmation outline and the correction procedures.

(For April-entry(1st & 2nd) & PEAK (1st & 2nd year) students)

Period for Grade Confirmation Request by Students: Mar. 9 (Thu) ~ Mar. 10 (Fri) 4:50 p.m.

Deadline for Instructor's Reply: Mar. 14 (Tue) 9:00 a.m.

Your answer to the Grade Confirmation Request may affect the advancement to Senior Division of the student. Careful calculation is required and be sure to avoid incorrect input when reporting grades. The deadlines must be observed strictly.

(3) Faculty Agreement on Grade Evaluation and Statement of Reason

If the number of students receiving the “A” or “A+” grade exceeds or falls below 20-40 % of all the examinees, a statement of reason in a specified format is required. See below for details.

- Faculty Agreement on Grade Evaluation: https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/seiseki/seiseki_moushiawase.pdf
- Statement of Reason format*: <https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/seiseki/rivyusho.xls>

* Submit Statement of Reason to the Department head (*bukai-shunin*) for courses offered by each Junior Division department (*bukai*), and to the Academic Affairs Division for Integrated courses (courses offered by Faculties, centers, etc.).

(4) Handling of Answer Sheets after Exams and Reports

Please keep the evidential documents for your grading such as answer sheets, reports, and participation checklists for a year.

研究支援経費(間接経費)の取扱いについて

研究支援経費(間接経費)は、直接経費で実施される研究を維持するための、人件費、光熱水料、建物等維持管理費などに使われており、余裕がない状況にある。しかしながら、当該研究を行うためには施設の改修等直接経費では執行することのできない経費が発生する場合もあるため、以下の場合に限り、財務委員会の承認のもとで、研究代表者等に研究支援経費を配分することとする。

記

(目的)

- 1 当該競争的資金による研究を円滑に遂行するため、一定の制限内で研究支援経費を配分する。

(対象競争的資金)

- 2 科学研究費補助金、COE、NEDO、受託研究、共同研究等、間接経費が計上されている全ての競争的資金を対象とする。ただし、寄附金は除く。

(申請者)

- 3 各研究課題等の研究代表者等が申請手続きを行う。申請者(特任教員、特別研究員含む)は以下のいずれかであること。
 - ・本研究科着任後3年度以内(申請時)の者
 - ・大型プロジェクト研究(原則として年間研究費3,000万円以上)の代表者またはそれに準ずる者

(申請対象経費)

- 4 効果的かつ効率的に研究を行うために必要な経費を対象とする。詳細については、別紙「研究支援経費の申請にあたって」のとおり。

(申請限度額)

- 5 原則、各研究課題等の当該年度に採択(配分)された研究支援経費(間接経費)の1/4の範囲内。ただし、申請総額が500万円を超える場合には、予め財務委員長と協議した上で申請すること。

(申請方法)

- 6 研究支援経費の申請を希望する者は、毎年度5月末又は11月末までに別紙申請書に記入のうえ財務委員長宛(提出先:経理課財務チーム)に申請すること。ただし、本研究科着任が11月1日以降の場合には別途経理課財務チームに相談すること。また、大規模な施設改修等、原状復帰に多額の経費を要すると見込まれる申請の場合には、必ず事前に専攻・系・部会の了承を得ておくこと。

(決定方法)

- 7 原則、財務委員会にて毎年度6月及び12月に審議を行い決定する。

この取扱いは、令和1年10月1日から適用する。

研究支援経費の申請にあたって

研究支援経費の申請にあたっては、効果的かつ効率的に研究を行うために必要な経費（実験機器等購入・修理、研究のための施設改修、非常勤教職員人件費（当該競争的資金に関連する業務を担当し、かつ研究期間終了後の人件費予算確保ができる場合のみ可））を申請くださいますようお願いいたします。当該競争的資金の直接経費（以下「直接経費」という。）にて執行が可能なもの及び生活環境の向上が目的のものに関しては、支援の対象外となる場合がありますのでご注意願います。

【留意事項】

1. 以下の事例については、原則、直接経費にて申請願います。

- ・パソコン及び周辺機器（ハードディスク、プロジェクター、モニター、キーボード等）
- ・消耗品（文房具、コピー紙等）

ただし、直接経費で執行できない理由（当該競争的資金のルールにより執行が不可等）がある場合には支援対象とします。予算の都合上、直接経費で申請できない等の理由は認められません。

2. 以下の事例のうち、生活環境の向上が目的のものは支援の対象外とします。

- ・掃除機
- ・空気清浄機（除湿器・加湿器含む）
- ・冷蔵庫（冷凍庫を含む）
- ・電子レンジ

ただし、研究のために必要であることが明確に説明できるものは支援対象とします。

3. 以下の事例については、研究用設備として支援対象とします。

- ・実験機器設置のための配管等の工事
- ・実験室等研究施設の空調設備
- ・実験室等研究施設の借用
- ・ネットワーク環境の整備
- ・机、椅子、書架、ホワイトボード

（ただし、机や椅子については、生活環境の向上が目的と思われる高価な物品を支援の対象外とする場合があります。）

申請にあたっては、上記の留意事項を踏まえ、内容を精査し、疑義の生じる要求については、要求内容にその理由を明記してご提出願います。

令和 年度 研究支援経費申請書

申請者所属：
 申請者役職：
 申請者氏名：
 着任年度：
 内 線：
 E-mail：

獲得した競争的資金の種類及び間接経費の総額	☒ 科研 ☐ 受託研究 ☐ 共同研究 ☐ NEDO ☐ COE ☐ その他()	
	課題番号 又は プロジェクト番号	
	配分された間接経費の額 (研究支援経費申請年度に配分される間接経費の総額)	0千円
申請事項		
申請額 ※間接経費の額の1/4が上限	0千円	
専攻・系・部会の上承 (大規模修繕の場合のみ記入)	有 無	

(所要額積算内訳)

事 項	所 要 額			備 考
	単 価	員 数	金 額	
要求分 (※プルダウンメニューより選択願います。) (※プルダウンメニューより選択願います。) (※プルダウンメニューより選択願います。) (※プルダウンメニューより選択願います。) (※プルダウンメニューより選択願います。) (※プルダウンメニューより選択願います。) (※プルダウンメニューより選択願います。) 自己負担分 ●●ほか	円		千円	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
申請額 負担額 合計			0 0 0	OK 自己負担額があればその額を記載 ※税込
備考 (配分希望先)				

1. 獲得した競争的資金の申請書中、間接経費の額が記載されている頁のみ、写しを添付すること。※大型プロジェクト研究で申請する場合のみ。
2. 獲得した競争的資金毎に作成すること。
3. 備考欄への理由記載を行う場合、具体的かつ簡明に記載すること。(欄が足りない場合、別紙記載とすること。)
4. 見積書やカタログ等、申請額が客観的に判断できるものを必ず添付すること。
5. 消費税込みの金額とすること。

(別紙)

品目	空気清浄機 除湿器・加湿器含む
(上記で「その他」を選択した場合、この欄に具体的な品目を記載願います)	
理由	研究目的として必要とする理由
(以下、記載)	

令和 年度 研究支援経費申請書(記入例)

申請者所属 超域科学〇〇コース

申請者役職: 教授

申請者氏名: 〇〇 〇〇

着任年度: H●●

内 線: 46●●●●

E-mail:

獲得した競争的資金の種類及び間接経費の総額	☒ 科研 ☐ 受託研究 ☐ 共同研究 ☐ NEDO ☐ COE ☐ その他()	
	課題番号 又は プロジェクト番号	1808 × × × × × × × ×
	配分された間接経費の額 (研究支援経費申請年度に配分される間接経費の総額)	4,000千円
申請事項		
申請額 ※間接経費の額の1/4が上限	1,000千円	
専攻・系・部会の上承 (大規模修繕の場合のみ記入)	有 無	

(所要額積算内訳)

事 項	所 要 額			備 考
	単 価	員 数	金 額	
要求分	円		千円	
机	150,000	1	150	
書架	200,000	1	200	
掃除機(研究目的として必要とする理由を備考欄に明記願います。)	250,000	1	250	〇〇として△△の研究に必要である為
空気清浄機(除湿器・加湿器含む)(研究目的として必要とする理由を備考欄に明記願います。)	150,000	1	150	〇〇として△△の研究に必要である為
パソコン(プロジェクター・モニター等周辺機器含む)(直接経費で執行不可の理由を備考欄に明記願います。)	50,000	1	50	直接経費の執行ルールでパソコン購入が禁止されているため
その他(必要とする品目とその理由を備考欄に明記願います。)	200,000	1	200	(品目名)、〇〇の研究に必要である為
自己負担分				
パソコン周辺機器	100,000	1	100	
申請額			1,000	OK
負担額			100	自己負担額があればその額を記載
合計			1,100	※税込
備考 (配分希望先)				

1. 獲得した競争的資金の申請書中、間接経費の額が記載されている頁のみ、写しを添付すること。※大型プロジェクト研究で申請する場合のみ。

2. 獲得した競争的資金毎に作成すること。

3. 備考欄への理由記載を行う場合、具体的かつ簡明に記載すること。(欄が足りない場合、別紙記載とすること。)

4. 見積書やカタログ等、申請額が客観的に判断できるものを必ず添付すること。

5. 消費税込みの金額とすること。

令和 年度 研究支援経費申請書

申請者所属: _____
 申請者役職: _____
 申請者氏名: _____
 着任年度: _____
 内 線: _____
 E-mail: _____

獲得した競争的資金の種類及び間接経費の総額	☒ 科研 ・ ☐ 受託研究 ・ ☐ 共同研究 ・ NEDO ・ COE ・ その他()	
	課題番号 又は プロジェクト番号	
	配分された間接経費の額 (研究支援経費申請年度に配分される間接経費の総額)	0千円
申請事項		
申請額 ※間接経費の額の1/4が上限	0千円	
専攻・系・部会の上承 (大規模修繕の場合のみ記入)	有 無	

(所要額積算内訳)

事 項	所 要 額			備 考
	単 価	員 数	金 額	
要求分 (※プルダウンメニューより選択願います。) (※プルダウンメニューより選択願います。) (※プルダウンメニューより選択願います。) (※プルダウンメニューより選択願います。) (※プルダウンメニューより選択願います。) (※プルダウンメニューより選択願います。) (※プルダウンメニューより選択願います。) 自己負担分 ●●ほか	円		千円 0 0 0 0 0 0	
申請額 負担額 合計			0 0 0	OK 自己負担額があればその額を記載 ※税込
備考 (配分希望先)				

1. 獲得した競争的資金の申請書中、間接経費の額が記載されている頁のみ、写しを添付すること。※大型プロジェクト研究で申請する場合のみ。
2. 獲得した競争的資金毎に作成すること。
3. 備考欄への理由記載を行う場合、具体的かつ簡明に記載すること。(欄が足りない場合、別紙記載とすること。)
4. 見積書やカタログ等、申請額が客観的に判断できるものを必ず添付すること。
5. 消費税込みの金額とすること。

(別紙)

品目	空気清浄機 除湿器・加湿器含む
(上記で「その他」を選択した場合、この欄に具体的な品目を記載願います)	
理由	研究目的として必要とする理由
(以下、記載)	

令和 年度 研究支援経費申請書(記入例)

申請者所属 超域科学〇〇コース

申請者役職: 教授

申請者氏名: 〇〇 〇〇

着任年度: H●●

内 線: 46●●●

E-mail:

獲得した競争的資金の種類及び間接経費の総額	☒ 科研 ・ ☐ 受託研究 ・ ☐ 共同研究 ・ NEDO ・ COE ・ その他()	
	課題番号 又は プロジェクト番号	1808××××××××
	配分された間接経費の額 (研究支援経費申請年度に配分される間接経費の総額)	4,000千円
申請事項		
申請額 ※間接経費の額の1/4が上限	1,000千円	
専攻・系・部会の上承 (大規模修繕の場合のみ記入)	有 無	

(所要額積算内訳)

事 項	所 要 額			備 考
	単 価	員 数	金 額	
要求分	円		千円	
机	150,000	1	150	〇〇として△△の研究に必要である為
書架	200,000	1	200	
掃除機(研究目的として必要とする理由を備考欄に明記願います。)	250,000	1	250	
空気清浄機(除湿器・加湿器含む)(研究目的として必要とする理由を備考欄に明記願います。)	150,000	1	150	〇〇として△△の研究に必要である為
パソコン(プロジェクター・モニター等周辺機器含む)(直接経費で執行不可の理由を備考欄に明記願います。)	50,000	1	50	直接経費の執行ルールでパソコン購入が禁止されているため(品目名)、〇〇の研究に必要である為
その他(必要とする品目とその理由を備考欄に明記願います。)	200,000	1	200	
自己負担分				
パソコン周辺機器	100,000	1	100	
申請額			1,000	OK
負担額			100	自己負担額があればその額を記載
合計			1,100	※税込
備考 (配分希望先)				

1. 獲得した競争的資金の申請書中、間接経費の額が記載されている頁のみ、写しを添付すること。※大型プロジェクト研究で申請する場合のみ。

2. 獲得した競争的資金毎に作成すること。

3. 備考欄への理由記載を行う場合、具体的かつ簡明に記載すること。(欄が足りない場合、別紙記載とすること。)

4. 見積書やカタログ等、申請額が客観的に判断できるものを必ず添付すること。

5. 消費税込みの金額とすること。

事務連絡
令和4年10月20日

各専攻（系）長
各機構長
各学科長
各部主任 殿

総合文化研究科・教養学部長

コロナ対策経費の要求について（照会）

このことについて、要求のある場合には下記を参照に要求書の提出をお願いします。
また、財源状況は大変厳しいものとなっているため、要求にあたっては、内容・緊急性等を考慮のうえ、厳選して提出願います。

記

1. 提出期限

令和4年11月30日（水）

※総額5百万円程度を予定

※要求書の内容によってはヒアリングを実施する可能性あり

2. 提出書類

令和4年度コロナ対策経費要求書及び見積書並びにカタログ等

3. 要求区分

主に教育関連、感染防止対策（別途通知「コロナ対策経費の申請にあたって」参照）に資することを目的とし、申請額は原則として150千円以下とします。

4. 提出先等

経理課財務チーム 内線46023

5. その他

- ① 要求書は、各専攻（系）長、各機構長、各学科長、各部主任名で提出してください。
- ② 各専攻（系）等から複数項目の要求も可とします。
- ③ ヒアリングを行う場合は別途通知します。
- ④ 申請が採択された場合は、物品検収もしくは事業完了後速やかに報告すること。
- ⑤ 恒常的に支援が必要となるものは、コロナ対策経費の対象としません。

コロナ対策経費の申請にあたって

コロナ対策経費は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にかかる対面授業等で必要な経費を申請の対象としています。

- ・ パーテーション
- ・ フェイスガード、フェイスシールド
- ・ 消毒用アルコール類、除菌シート、ハンドソープ
- ・ その他、対面授業等の感染症対策に必要な物品

上記項目につきまして、要求内容・緊急性等を精査したうえでご提出願います。

【注意事項】

- ・ アルコール類につきましては、昨年度同様、最大半額補助といたしますので、半額分のみ要求してください（価格 50 千円の場合、25 千円の要求）。
- ・ 上記要件を満たしていることが分かるように理由を記載してください。
- ・ 令和 4 年 4 月 1 日以降で購入済みのものであっても申請対象とします。その場合も要求書及び見積書（請求書）、カタログ等を提出してください。
- ・ 申請額の上限は 150 千円としますが、コロナ対策の関係上必要不可欠な執行であるが、財源が確保できないなど特別の理由により上限を超えて申請する場合は、その理由を付して申請して下さい。審議の上必要と認められた場合は、150 千円を超えて承認する場合があります。
- ・ 要求書の提出につきましては、専攻（系）、機構、学科、部会を単位として提出することとし、一つの単位の中で複数項目の要求も可とします。なお、複数の専攻（系）等がかかる組織から提出を希望する場合は、事前に財務チームに問い合わせること。
- ・ 財務委員会で審議を行い、配分の可否及び配分額を決定いたします。申請内容によってはヒアリングを行う場合がございますが、その場合は別途お知らせいたします。

令和4年 月 日提出

令和4年度コロナ対策経費 要求書

連絡責任者：_____

内 線：_____

e-mail：_____

組織名称		要 求 額 (税込総額)	千円
要 求 事 項			
要 求 理 由 (必要性、緊急性、 新型コロナウイルス との関連について具 体的かつ簡明に記載 すること)			
要 求 額 内 訳 (希望順位があればつ けること)			千円
			千円
			千円
		計	千円

その他

1. 要求理由は、具体的かつ簡明に記載すること。
2. カタログ、見積書等金額の分かる資料を添付すること。
3. 1件あたり（値引き後）原則150千円以下とすること。
4. 申請が採択された場合は、物品検収もしくは事業完了後速やかに報告すること。

次期 ITC-LMS と ECCS 端末について

2024 年 4 月に ITC-LMS が更新される予定で、情報基盤センターから次期システムに関するアンケートへの協力が求められていました。

https://www.ecc.u-tokyo.ac.jp/announcement/2022/06/27_3433.html?ref=rss

当該のアンケートは終了していますが、提案しそびれた要望があれば、11 月末までに要望を伝えることで検討してもらえる可能性があります。

utelecon サポート窓口に連絡してください。

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/support/>

以上

令和4(2022)年度 第73回 駒場祭の実施について

【開催日】

令和4(2022)年11月18日(金)～20日(日)の3日間
(11月17日(木) 午後は前日準備、21日(月) 午前は後片付け)

【実施形態】

飲食物の提供を伴う対面とオンラインによるハイブリッド開催

【上限人数】

20,000人/日

内訳：企画構成員（他大学の学生を含む）10,000人

来場者（事前申込制）10,000人

※上限人数は、東京都のイベント開催基準を踏まえて算出し、さらに屋外の密対策を考慮して設定。

【感染症対策を実施した飲食物の提供】

- ・屋外においては、キャンパス内の2ヶ所に飲食物を提供する企画と来場者の飲食スペースのみで構成された「飲食ブロック」を設置する。
- ・屋内で飲食物を提供する企画は、十分な感染症対策を行った飲食スペースの設置を義務付ける。
- ・これらの飲食スペース以外での来場者の飲食を禁止する。
- ・その他、飲食ブロック内の人数制限、密対策として1m以上の距離の確保、対面配座を避け、黙食・個食の徹底、委員の巡回等の対策を講じる。
- ・調理者の手洗い・消毒、調理器具の消毒を徹底し、飲食物を介した感染を防止する。

【開催の前提】

全学の活動制限指針がA、駒場キャンパスのステージイエローⅠの場合は、上記のとおり開催。

全学の活動制限指針がB、駒場イエローⅡにレベルが引き上げられた場合は、飲食物の提供は一切取り止め、入構上限人数も必要に応じて再検討する。

※令和4(2022)年9月15日(木) 開催の新型コロナウイルス対策タスクフォース承認

駒場キャンパスの環境整備について

日時：2022年12月6日（火）14：00～15：30

（雨天の場合は、12月7日（水）に延期）

マスクの着用、ソーシャルディスタンスの保持にご協力ください

普通ゴミ：決められた分別をして、最寄りのゴミ集積所へ

粗大ゴミ：図書館書庫東側、18号館西側

（アドバンスト・リサーチ・ラボラトリー前広場）へ

パソコン等：1号館中庭（12月6日（火）のみ）

枯葉：道路や通路上に散在する落葉は集めて木の下
や生け垣の周辺または「バイオネスト」（木の枝
を円形に組んだもの）の中へ※木の枝は入れない

※パソコン等を廃棄する場合は、**個人情報等の重要情報**が含まれている場合がありますので、必ず**ハードディスク及びメモリーを消去・破壊し、再生不可能な状態で**
1号館中庭に廃棄して下さい。

※液体が入ったままの容器、ガスが入ったままのスプレー缶は廃棄しないで下さい。

※トナーカートリッジは回収できません。



2023年度 第一段階進学選択進学内定者数

令和4年8月30日

法学部 (法学部)	第一段階定数		内定者数												
			指定科類						全科類						
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
				文一	理科	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一
	267	4	12	310 267			5 3	5 1		43	4	37 12	2	4	

経済学部 (経済学部)	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	文二	理科	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	
187	7	42		282 187		9 2	13 5		20 10	95	41 30	7 2	8		

文学部 (A群(思想文化))	第一段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
					文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	文三	理科	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三		
35	9			39 35				7 6	3 2	4	2	6 1				

文学部 (B群(歴史文化, 日本史学))	第一段階定数		内定者数												
			指定科類						全科類						
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	15	2			15					1					
					15					1					

文学部 (C群(歴史文化,東洋史学))	第一段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
					文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	13	2			7											
				7												
			内定者数													

文学部 (D群(歴史文化,西洋史学))	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科		理科		文科			理科			
	文三	全科類										文一	文二
	16	2			8 8					1 1			1 1
	第二段階定数		内定者数										

文学部 (E群(歴史文化,考古学))	第一段階定数		指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	1				4								
			内定者数											

文学部 (F群(歴史文化,美術史学))	第 一 段 階 定 数		指定科類						全科類					
	指定科類		文科		理科		文科			理科				
	文三	全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8	2			7 7					1 1				
	第 一 段 階 定 数		内 定 者 数											
			450 以内 5-1 以内						450 以内 5-1 以内					

文学部 (G群(言語文化))			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	59				54				3	4		5	3	
	14				54				3	4		5	2	
	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					

文学部 (H群(心理学))	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	15				22				1	1	7			4
					15				1					1
	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					

文学部 (I群(社会心理学))	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	12	2			18 12					6 1	6 1			
	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					

文学部 (J群(社会学))	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
25	8			40 25				1 1	3 3	15 4	2	2			

教育学部 (基礎教育学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	9	3			8 8				1 1	1 1		2	1 1	
教育学部 (比較教育社会学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	7	3			17 7					1	10 2	1 1		
教育学部 (教育実践・政策学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11	5			14 11				2 2		3 1		2 2	
教育学部 (教育心理学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三 理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	9 2	3			15 9	4 2	1		3 2		6 1	2	1	
教育学部 (身体教育学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	---		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	---	11									2 2		1 1	

教養学部 (超域文化科学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文一・二 文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	6 12	5	9 6	7	25 12				3	7	13 3	2 1		1 1
教養学部 (地域文化研究)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文一・二 文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8 12	2	3 3	6 5	27 12					1	15	1 1	1 1	
教養学部 (総合社会科学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文一・二 文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11 10	1	15 9	7 2	9 9				6 1	5				
教養学部 (数理自然科学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	6	1				7 4	2 2				1 1	3		
教養学部 (物質基礎科学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	12	---				5 5	4 4							
教養学部 (統合生命科学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11	3				2 2	5 5				2 2			
教養学部 (認知行動科学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文科 理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3 3	---	1		4 3	3 1	3 2							
教養学部 (スポーツ科学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	---				1 1	3 1							
教養学部 (学際科学科A群(科学技術論・地理・空間))	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文科 理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	5 3	---	3	2	11 5	2 2	1 1							
教養学部 (学際科学科B群(総合情報学・広域システム))	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文科 理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2 5	2	1	4 1	3 1	3 2	4 3		1	3 1	2 1	1	1	

教養学部 (国際日本研究コース)	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	---	3								1	3		2
										2		1	

教養学部 (国際環境学コース)	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	---	3							1			2	2
									1			1	1

工学部 (社会基盤学A (設計・技術戦略))	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	11	1				23	5					12	4
						11	1						1

工学部 (社会基盤学B (政策・計画))	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	10	3				18			3	1		8	
						10			2	1			

工学部 (社会基盤学C (国際プロジェクト))	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	3	3				2				1			1
						2				1			1

工学部 (建築学)	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	34	6				48			2	2	1	14	8
						34			2			4	

工学部 (都市環境工学(環境共生・国際公共衛生・水・環境ハイ))	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	6	3				5	8				2		5
						5	3				1		2

工学部 (都市計画(都市と地域の分析・計画・デザイン))	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	15	6				26			5	2	6	11	3
						15			3	1	1		1

工学部 (機械工学A(デザイン・エネルギー・ダイナミクス))	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	56	2				94	5			1		38	3
						56	2			1			1

工学部 (機械工学B(ロボティクス・知能・ヒューマンインターフェース))	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	26	1				43						17	1
						26							1

工学部 (航空宇宙学)	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	34	1				64	3						
						34	1						

工学部 (精密工学(知的機械・バイオメカニカル・生産科学))	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	24	3				53	16					28	13
						25	2	3					3

工学部 (電子情報工学(計算知能・コミュニケーション・メディアデザイン))	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	29	8				63				3	1	34	8
						29				2		1	1

工学部 (電気電子工学(エネルギー・環境・ナノ物理・電子・光システム))	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	30	9				61				1	2	29	11
						32	4			1			8

工学部 (応用物理・物理工学 (物性物理・量子情報))	第一段階定数		内定者数										
			指定科類						全科類				
	指定科類		文科			理科			文科			理科	
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
	32	3				46						14	5
						32							3

工学部 (計数工学・数理/システム情報 (数理工学・物理情報学・認識 行動学))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	32	3	2			51 32	10 3		2 2	1	1	19	7	
工学部 (マテリアル工学A (バイオマテリアル))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	6	(10)	(3)			3 3	6 4						2	
工学部 (マテリアル工学B (環境・基盤マテリアル))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	16	(10)	(3)			6 6	4 1			1 1			3 1	
工学部 (マテリアル工学C (ナノ・機能マテリアル))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	16	(10)	(3)			3 3	9 5				1 1		4	
工学部 (応用化学)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	29	5	---			25 25	9 5							
工学部 (化学システム工学(環境・エネ ルギー・医療))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	22	6	3			30 22	12 6			1 1		8	6 2	
工学部 (化学生命工学)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	19	13	1			29 19	21 13		1 1			10	8	
工学部 (システム創成A (環境・エネルギーシステム))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	19	4	4			27 19	13 4	1		1 1	1	8	9 3	1
工学部 (システム創成B (システムデザイン&マネジメント))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一		文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	21	5				57 22		2	1	2	1	35	9 2	
工学部 (システム創成C (知能社会システム))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	23	2	4			43 23	4 2		1 1	4 2		20	2 1	

理学部 (数学)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	全科類	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	28	3				55 28						27 1	6 2	1
理学部 (情報科学)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	全科類	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	15	4				25 15						10 2	2 2	
理学部 (物理学)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	全科類	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	39	5				59 39						20 3	7 2	
理学部 (天文学)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	全科類	文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	5	1				11 5						6 1	3	

理学部 (地球惑星物理学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理一		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	17	5				28 17				1 1	1	11	13 4	
理学部 (地球惑星環境学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	10	3				11 9	5 1					2 2	4 1	
理学部 (化学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理一 理二・三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	17 10	5				23 17	16 10					6 3	6 2	
理学部 (生物化学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	13	1				7 2	16 11					5 1	5	
理学部 (生物情報科学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	5	1				5 3	5 2					2	3 1	
理学部 (生物学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	10	2				1	18 10					1	8 2	

農学部 (生命化学・工学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	42	12					32 32					4 4		
農学部 (応用生物学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	10	9					8 8				1 1	1 1		
農学部 (森林生物学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	2					2 2					1 1		
農学部 (水圏生物学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	7	3					9 7					2 1	2 2	
農学部 (動物生命システム科学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	3					6 4				1 1		2 2	
農学部 (生物素材化学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	7	---				2 2	6 5							
農学部 (緑地環境学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	2					5 2		1 1	1			3 1	
農学部 (森林環境資源科学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	6	4					4 4			1 1	4 3	2 2		
農学部 (木質構造科学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	5	---				2 2	6 3							

農学部 (生物・環境工学)	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	理一・三	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	5	11	2					5 5							
農学部 (農業・資源経済学)	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文科	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	7	15	—		3 1	6 6	5 4	15 11							
農学部 (フィールド科学)	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二	理三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4		2					7 4				1 1		3 1	
農学部 (国際開発農学)	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科	理三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	9		4				1 1	6 6		2 1	6 5				
農学部 (獣医学課程獣医学)	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二	理三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	19		3					28 19				3 2	1 1	9 1	

薬学部 (薬学部)	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	理一・三	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	16	30	8				20 16	64 30			1 1	1 1	4 1	34 6	

医学部 (医学)	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二	理三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	6	67	1					18 7	92 67	4 1			3	11	25
医学部 (健康総合科学科)	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科	理三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11		18				2 2	3 3		1 1	1 1	5 5			

【注記】

- (1) 内定の人数、志望登録した人数を表示している。
内定の人数のうち、最低点が同点の場合は定数を超えて内定する。

《内定の人数の見方（例）》

100	←	その学部・学科等を志望登録した人数。
65 2	←	その学部・学科等の内定の人数 この例の場合、定数内の人数が65人、 最低点が同点（小数点第二位まで）の定数内の人数が2人であったことを示す。

- (2) 外国人留学生《日本政府（文部科学省）奨学金留学生、外国政府派遣留学生、日韓共同理工系学部留学生、外国学校卒業学生特別選考第一種、公益財団法人日本台湾交流協会学部留学生》、PEAK生及び学校推薦型選抜入学者は集計には算入していない。
- (3) 経済学部の進学選択準則に記載されている「各科類の基本科類定数の6%」にあたる数とは次のとおりである。
文科一類 25名、文科三類 30名、理科一類 69名、理科二類 34名、理科三類 6名

2023年度 第二段階進学選択進学内定者数

令和4年9月20日

法学部 (法学部)	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文一	文二・三	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	80	2	2	43	77 58	43	70 2	28 1	38 1		19	43 5	68 33	27 1	37 4	

経済学部 (経済学部)	第二段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	文二	理科	全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
85	3	18		132 85		73 1	70 2		32 8	47 1		72 4	68 6		

文学部 (A群(思想文化))	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
			文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	9	12			60				7	32	52	17	13	
			8					1	3			3	5	

文学部 (B群(歴史文化,日本史学))	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
			文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3	5			26				4	21	25	9	5	
			1					1	1			1		

文学部 (C群(歴史文化,東洋史学))	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
			文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	10	6			29				3	16	27	6	3	
			2									1		

文学部 (D群(歴史文化,西洋史学))	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
			文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11	4			37				6	22	35	7	6	
			2							3		1		

文学部 (E群(歴史文化,考古学))	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
			文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3	3			22				7	8	22	6	6	

文学部 (F群(歴史文化,美術史学))	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
			文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3	3			20				3	10	19	4	5	
			1										1	

文学部 (G群(言語文化))	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
			文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	20	15			66				12	36	61	25	17	
			5							8		4	3	

文学部 (H群(心理学))	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
			文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	4			73				8	45	71	22	24	
			2						1		1	1	1	

文学部 (I群(社会心理学))	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
			文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3	3			62				9	45	59	17	16	
			3							3				

文学部 (J群(社会学))	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
			文科			理科			文科			理科		
			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	9	7			90				17	55	81	17	17	
					9				1	1	3	1	1	

教育学部 (基礎教育学)	第二段階定数			内定者数																
	指定科類		全科類	指定科類						全科類										
	文科			理科			文科			理科										
	文一	文二		文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三							
	5		3			15						1		11		2		2		
						4														
教育学部 (比較教育社会学)	第二段階定数			内定者数																
	指定科類		全科類	指定科類						全科類										
	文科			理科			文科			理科										
	文一	文二		文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三							
	3		2			15						5		12		1		1		
						3							1		1					
教育学部 (教育実践・政策学)	第二段階定数			内定者数																
	指定科類		全科類	指定科類						全科類										
	文科			理科			文科			理科										
	文一	文二		文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三							
	4		4			21						1		2		17		2		4
						4								2		2				1
教育学部 (教育心理学)	第二段階定数			内定者数																
	指定科類		全科類	指定科類						全科類										
	文科			理科			文科			理科										
	文一	文二		文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三							
	4		2	1			20		5		5			1		16		3		5
						4			2						1					
教育学部 (身体教育学)	第二段階定数			内定者数																
	指定科類		全科類	指定科類						全科類										
	文科			理科			文科			理科										
	文一	文二		文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三							
	---		13										1		5		1		1	
														5		1				

教養学部 (超域文化科学)	第二段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
				文科			理科			文科			理科		
	文一・二	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	9	1	9	24	46				9	22	37	8	10	
				2	2	9					1				
教養学部 (地域文化研究)	第二段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
				文科			理科			文科			理科		
	文一・二	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3	6	2	8	23	42				6	22	36	5	6	
				2	1	6						2			
教養学部 (総合社会科学)	第二段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
				文科			理科			文科			理科		
	文一・二	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8	2	1	15	26	37				11	22	35	7	8	
				4	4	2				1					
教養学部 (数理自然科学)	第二段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
				文科			理科			文科			理科		
	理科			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2		---				60	12							
								2							
教養学部 (物質基礎科学)	第二段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
				文科			理科			文科			理科		
	理科			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	10		---				59	23							
							8	2							
教養学部 (統合生命科学)	第二段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
				文科			理科			文科			理科		
	理科			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8		1				22	24		3		5	20	20	
							2	4		1					
教養学部 (認知行動科学)	第二段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科	理科		文科			理科			文科			理科		
				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	1	1	---	5	11	12	29	17							
						1	1								
教養学部 (スポーツ科学)	第二段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
				文科			理科			文科			理科		
	理科			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	1		---				8	5							
							1								
教養学部 (学際科学科A群(科学技術論・地理・空間))	第二段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科	理科		文科			理科			文科			理科		
				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	1	---	8	9	25	16	12							
				2		2		1							
教養学部 (学際科学科B群(総合情報学・広域システム))	第二段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科	理科		文科			理科			文科			理科		
				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	1	3	---	4	7	11	38	16							
						1	2	1							

教養学部 (国際日本研究コース)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	---	2							1	2	11 2	2	4	
教養学部 (国際環境学コース)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	---	2								4 1	4 1	5	3	
工学部 (社会基盤学A (設計・技術戦略))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	7	0				92 7								
工学部 (社会基盤学B (政策・計画))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	6	0				79 6								
工学部 (社会基盤学C (国際プロジェクト))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	1				56 4			2 1	3	3	52	17	
工学部 (建築学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	13	4				104 13				5 1	6 1	91	37 2	
工学部 (都市環境工学(環境共生・国際公共衛生・水・環境ハイオ))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	0				58 4			1	7	9	54	30 3	
工学部 (都市計画(都市と地域の分析・計画・デザイン))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8	4				91 8			4	5 1	9 3	83	32	
工学部 (機械工学A(デザイン・エネルギー・ダイナミクス))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	31	0				206 31								
工学部 (機械工学B(ロボティクス・知能・ヒューマンインターフェース))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	13	0				172 13								
工学部 (航空宇宙学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	18	0				117 18								
工学部 (精密工学(知的機械・バイオメディカル・生産科学))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11	0				200 11				4 1	3	189	43 2	
工学部 (電子情報工学(計算知能・コミュニケーション・メディアデザイン))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	20	2				161 20				3	3 1	141	31 1	1
工学部 (電気電子工学(ロボット・環境・ナノ物理・電子&光システム))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	20	2				190 20				3 1	4	170	42 1	1
工学部 (応用物理・物理工学 (物性物理・量子情報))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	14	3				114 14				1		100	30 3	

工学部 (計数工学・数理/システム情報 (数理工学・物理情報学・認識 行動学))	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理一	理二・三	全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	18	0	3				120 18			1	3 1	3 1	102	25 1	
工学部 (マテリアル工学A (バイオマテリアル))	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理一	理二・三	全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	9	(2)	(2)				87 9	47 1			1	2	78	46	
工学部 (マテリアル工学B (環境・基盤マテリアル))	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理一	理二・三	全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	17	(2)	(2)				107 17	33			4	2	90	33 1	
工学部 (マテリアル工学C (ナノ・機能マテリアル))	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理一	理二・三	全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	21	(2)	(2)				129 21	40 1			1	3	108	39 1	
工学部 (応用化学)	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理一	理二・三	全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	14	4	3				70 14	43 4					56	39 3	
工学部 (化学システム工学(環境・エネ ギー・医療))	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理一	理二・三	全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11	3	0				89 11	56 3							
工学部 (化学生命工学)	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理一	理二・三	全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	5	7	4				53 5	54 7		1	1	1	48 3	47 1	
工学部 (システム創成A (環境・エネルギーシステム))	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理一	理二・三	全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	12	2	(3)				153 12	50 2			1	6	141	48	
工学部 (システム創成B (システムデザイン&マネジメント))	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理一		全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11		(3)				170 11				4	5	159	37 1	
工学部 (システム創成C (知能社会システム))	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理一	理二・三	全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	12	2	(3)				166 12	34 2		2	6 2	4	154	32	
理学部 (数学)	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理科		全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	0		13										68 12	17 1	1
理学部 (情報科学)	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理科		全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	0		10										74 8	25 2	1
理学部 (物理学)	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理科		全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	0		21										95 18	32 3	
理学部 (天文学)	第二段階定数		内定者数												
	指定科類		指定科類						全科類						
	理科		全科類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	0		4										46 2	20 2	

理学部 (地球惑星物理学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	0	10	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
理学部 (地球惑星環境学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	3	2	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
理学部 (化学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	13	---	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
理学部 (生物化学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	6	---	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
理学部 (生物情報科学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	5	---	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
理学部 (生物学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	0	10	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (生命化学・工学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	38	4	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (応用生物学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	8	9	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (森林生物学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	2	5	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (水圏生物学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	3	3	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (動物生命システム科学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	2	---	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (生物素材化学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	4	---	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (緑地環境学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	2	0	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (森林環境資源科学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	1	3	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (木質構造科学)	第二段階定数		内定者数											
	指定科類	全科類	指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	2	1	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三

農学部 (生物・環境工学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	文科	理科	文科	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	1	5	15	1	6	3	18 1	37 4	1	6	3	17	33 4	
農学部 (農業・資源経済学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	文科	理科	文科	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	7	—	6	53 2	27 2	25 1	64 6						
農学部 (フィールド科学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理科	全科類	文科	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	1				14	36 2			2	7	14 1	34	
農学部 (国際開発農学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理科	全科類	文科	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3	5				11	42 3		5	11	17 1	11 1	39 3	
農学部 (獣医学課程獣医学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理科	全科類	文科	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8	—				9	27 8							
薬学部 (薬学部)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理科	全科類	文科	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	29	—				39 2	80 27							
医学部 (医学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理二	理三	文科	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	35	1				11 2	28 28	3			3	9 1	
医学部 (健康総合科学科)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理科	全科類	文科	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11	19				2 1	7 1		2	1 1	3	1	6	

【注記】

(1) 内定の人数、志望登録した人数を表示している。

《内定の人数の見方（例）》

100	← その学部・学科等を志望登録した人数。
65	← その学部・学科等の内定の人数

(2) 外国人留学生《日本政府（文部科学省）奨学金留学生、外国政府派遣留学生、日韓共同理工系学部留学生、外国学校卒業学生特別選考第一種、公益財団法人日本台湾交流協会学部留学生》、PEAK生及び学校推薦型選抜入学者は集計には算入していない。

(3) 経済学部の進学選択準則に記載されている「各科類の基本科類定数の6%」にあたる数とは次のとおりである。
文科一類 25名、文科三類 30名、理科一類 69名、理科二類 34名、理科三類 6名

2023年度 第三段階 進学選択会議資料(内定者数)

令和4年9月27日

文学部		第 三 段 階					
		定数		内定者数		定数 — 内定者数	
		指定科類	全科類	指定科類	全科類	指定科類	全科類
		文科三類		文科三類		文科三類	
人文学科	A群	1	---	0	---	1	---
	B群	2	2	0	0	2	2
	C群	3	1	0	0	3	1
	D群	9	---	0	---	9	---
	E群	3	3	0	1	3	2
	F群	2	2	1	0	1	2
	G群	15	---	0	---	15	---
文学部合計		35	8	1	1	34	7

教育学部		第 三 段 階								
		定数			内定者数			定数 — 内定者数		
		指定科類		全科類	指定科類		全科類	指定科類		全科類
		文科三類	理科		文科三類	理科		文科三類	理科	
総合教育科学	身体教育学	---	---	9	---	---	1	---	---	8
	教育学部合計	0	0	9	0	0	1	0	0	8

教養学部		第 三 段 階								
		定数			内定者数			定数 — 内定者数		
		指定科類		全科類	指定科類		全科類	指定科類		全科類
		理科	文科		理科	文科		理科	文科	
統合自然科学科	統合生命科学	2	---	---	2	---	---	0	---	---
	教養学部 (理系)合計	2	0	0	2	0	0	0	0	0

農学部		第 三 段 階								
		定数			内定者数			定数 — 内定者数		
		指定科類			指定科類			指定科類		
		理科	文科	全科類	理科	文科	全科類	理科	文科	全科類
応用生命科学	生命化学・工学	22	---	4	22	---	0	0	---	4
	応用生物学	6	---	9	0	---	0	6	---	9
	森林生物科学	---	---	3	---	---	1	---	---	2
	水圏生物科学	---	---	1	---	---	1	---	---	0
	生物素材化学	2	---	---	2	---	---	0	---	---
環境資源科学	生物・環境工学	---	1	11	---	1	6	---	0	5
	農学部合計	30	1	28	24	1	8	6	0	20

医学部		第 三 段 階											
		定数				内定者数				定数 — 内定者数			
		指定科類			全科類	指定科類			全科類	指定科類			全科類
		理三	理二	理科		理三	理二	理科		理三	理二	理科	
健康総合科学		---	---	9	18	---	---	1	1	---	---	8	17
	医学部合計	0	0	9	18	0	0	1	1	0	0	8	17

女性人事加速サポート

2022 年度人事マネジメント支援プログラム（申請要領）

1. 目的

部局における女性教員比率 25%達成に向けた過去 5 年間の取組に対する評価並びに更なる取組みへの支援

2. 申請要件

- (1) 人事マネジメント支援プログラムは、次に掲げる 2 つの要件を満たした部局からの申請に基づき、審査を行うものとする。
 - ①学外の者を 2017 年 5 月 2 日から 2022 年 5 月 1 日までの間に、部局の恒久採用可能数を用いて、女性教授又は女性准教授として採用した部局
 - ②2017 年 5 月 1 日と比較し、2022 年 5 月 1 日の部局における女性教員数及び女性教員比率又は常勤の特任教員を含む女性教員数及び女性教員比率が上昇した部局
- (2) (1) ①について、採用時の任期又は採用から定年までの期間が 5 年未満となる者及びそれに類する者の採用は対象外とする。
- (3) (1) ①の女性教授又は女性准教授の採用について、学外の者の採用の他、学内の特任研究員及び特定短時間勤務の特任教員からの異動も含むものとする。その他の学内異動については Q & A を参照すること。

3. 手続き

- (1) 本支援プログラムの活用を希望する部局の長は、あらかじめ教授会の了解を得て、男女共同参画室に申し出るものとする。
- (2) 申出は、申請書（様式 1）及び人事情報（様式 2）を本部ダイバーシティ推進課にメールで提出するものとする。
- (3) 申出後、各様式の内容に変更等が生じた場合は、速やかに本部ダイバーシティ推進課に報告するものとする。
- (4) 申出期間は、2022 年 10 月 17 日から 2022 年 10 月 31 日までとする。

4. 審査

- (1) 部局から提出された各様式に基づき、男女共同参画室において内容の確認及び審査を行い、支援対象部局及び配分額について案を決定する。
- (2) 審査に際し、必要に応じて、部局担当者に聞き取り調査又は資料の提出を求める場合がある。

(3) 決定した支援案は、役員会の議を経て、最終決定を行う。

5. 支援

(1) 支援は、学外から採用する若手女性教員（特任教員を除く）の人件費とする。

(2) 支援期間は、若手女性教員の採用から3年間とする。

(3) 若手女性教員の採用は、学外からの採用の他、学内の特任研究員及び特定短時間勤務の特任教員からの異動は対象とする。その他対象となる学内の異動についてはQ & Aを参照すること。

(4) 本支援プログラムを用いた若手女性教員の採用が決定した部局は、速やかに報告書（様式3）を本部ダイバーシティ推進課に提出するものとする。

(5) その他支援に関することは、本部ダイバーシティ推進課から別途案内を行う。

6. その他

(1) 本要領に定めるもののほか、本支援プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(2) 本支援プログラムについて不明な点は、Q & Aを参照する他、下記担当に問い合わせること。

（事務局担当）

本部ダイバーシティ推進課

E-mail : diversity-prom.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

2022 年度人事マネジメント支援プログラム申請書

男女共同参画室 御中

(部局長名)

(部局名) は標記支援を希望いたします。
 なお、下記のとおり、標記支援を用いた女性教員の採用等を計画しております。

記

1. 希望支援額と利用計画

○希望支援額

✓	1,200 万円	✓	1,100 万円	✓	1,000 万円	✓	900 万円
✓	800 万円	✓	700 万円	✓	600 万円		

※複数回答可

○利用計画 (若手女性教員の人数・職位・給与等)

--

※希望支援額と利用計画の内容が乖離しないこと

2. 若手女性教員の採用計画について

✓	女性限定公募を行う予定である。
✓	採用計画を立てており、支援決定後、速やかに公募を行う予定である。
✓	支援決定後、採用計画を立て、公募を行う予定である。
✓	その他 ()
備考	

3. 支援期間終了後の計画について

--

(部局名)

部局の人事情報（女性教員数等）について

①部局における女性教員の採用状況について

2017年5月2日から2022年5月1日までの間に、恒久採用可能数を用いて、学外から新規採用した女性教授又は女性准教授の情報を記載してください。

個人番号	氏名	職名	採用日	恒久採用可能数上の前任者

※教授又は准教授の恒久採用可能数を人件費に移行した財源（人件費管理移行財源）を用いた第8章による女性教授及び女性准教授の採用の場合、教授又は准教授の恒久採用可能数の財源化（第2章）又は人件費管理移行財源で採用した年俸制教授又は年俸制准教授の場合は、③に詳細を記載すること。

※時限採用可能数又は時限財源を用いた採用は含みません。

※役員（常勤）、教員、特任教員（常勤）からの採用は含みません。

※採用時の任期又は採用から定年までの期間が5年未満となる者及びそれに類する者の採用は対象外とする。

②部局における各年度の教員数及び女性教員数について

○教員

	教授	准教授	講師	助教	助手
2017.5.1	()	()	()	()	()
2018.5.1	()	()	()	()	()
2019.5.1	()	()	()	()	()
2020.5.1	()	()	()	()	()
2021.5.1	()	()	()	()	()
2022.5.1	()	()	()	()	()

※職名ごとに男女合計人数（カッコ内は女性数）を記載してください。

様式 2 ・ 修正版

※本学から給与の支給が無い者、本学と雇用関係が無い者は除きます。

○特任教員

	特任教授	特任准教授	特任講師	特任助教
2017.5.1	()	()	()	()
2018.5.1	()	()	()	()
2019.5.1	()	()	()	()
2020.5.1	()	()	()	()
2021.5.1	()	()	()	()
2022.5.1	()	()	()	()

※職名ごとに男女合計人数（カッコ内は女性数）を記載してください。

※本学から給与の支給が無い者、本学と雇用関係が無い者は除きます。

③その他参考情報等

--

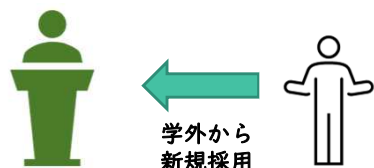
女性人事加速サポート 2022年度人事マネジメント支援プログラム

申請要件①と②を満たした部局からの申請に基づき、若手女性教員の人件費支援【3年間】を決定

①学外の者を2017/5/2～2022/5/1の間に、恒久採用可能数を用いて、女性教授・女性准教授として採用した

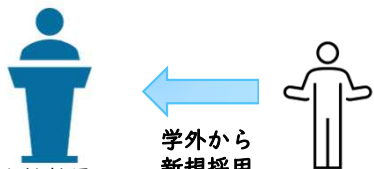
2017/5/2 → 2022/5/1

- ✓後任人事で女性の教授又は准教授を新規採用
- ✓空きポストに女性の教授又は准教授を新規採用



女性教員
【恒久採用可能数】

- ✓部局の教授又は准教授の恒久採用可能数を人件費に移行した財源等により女性の教授又は准教授を新規採用



女性教員
【年俸制教員・第8章】

②2017/5/1との比較で、2022/5/1の女性教員数・女性教員比率が上昇した

2017/5/1

職名	男性	女性	女性比率
教授	30	3	9.1%
准教授	60	10	14.3%
講師	8	2	20%
助教	100	20	16.7%
計	198	35	15.0%

2022/5/1

職名	男性	女性	女性比率
教授	29	4	12.1%
准教授	60	11	15.5%
講師	8	2	20%
助教	97	23	19.2%
計	194	40	17.1%

※常勤の特任教員を含めた女性教員数・女性教員比率での比較も可

上昇を確認

女性人事加速サポート 2022年度人事マネジメント支援プログラム

3年間の支援（若手女性教員の人件費）を用いた人事計画

支援

支援（若手女性教員の人件費）を用いてできること（例）

年1,200万円の支援
（3年間で計3,600万円）

- ✓ 年俸制准教授の採用
- ✓ 年150万円の部局負担で、第8章教授を採用
- ✓ 人件費の差額分を部局負担で、年俸制助教を3名採用

年1,000万円の支援
（3年間で計3,000万円）

- ✓ 年俸制准教授の採用
- ✓ 年90万円の部局負担で、第8章准教授を採用
- ✓ 人件費の差額分を部局負担で、年俸制助教を2名採用

年700万円の支援
（3年間で計2,100万円）

- ✓ 年俸制助教の採用
- ✓ 年90万円の部局負担で、第8章助教を採用
- ✓ 人件費の差額分を部局負担で、年俸制准教授を採用

支援をどのように用いるか、部局の戦略的な計画に期待！

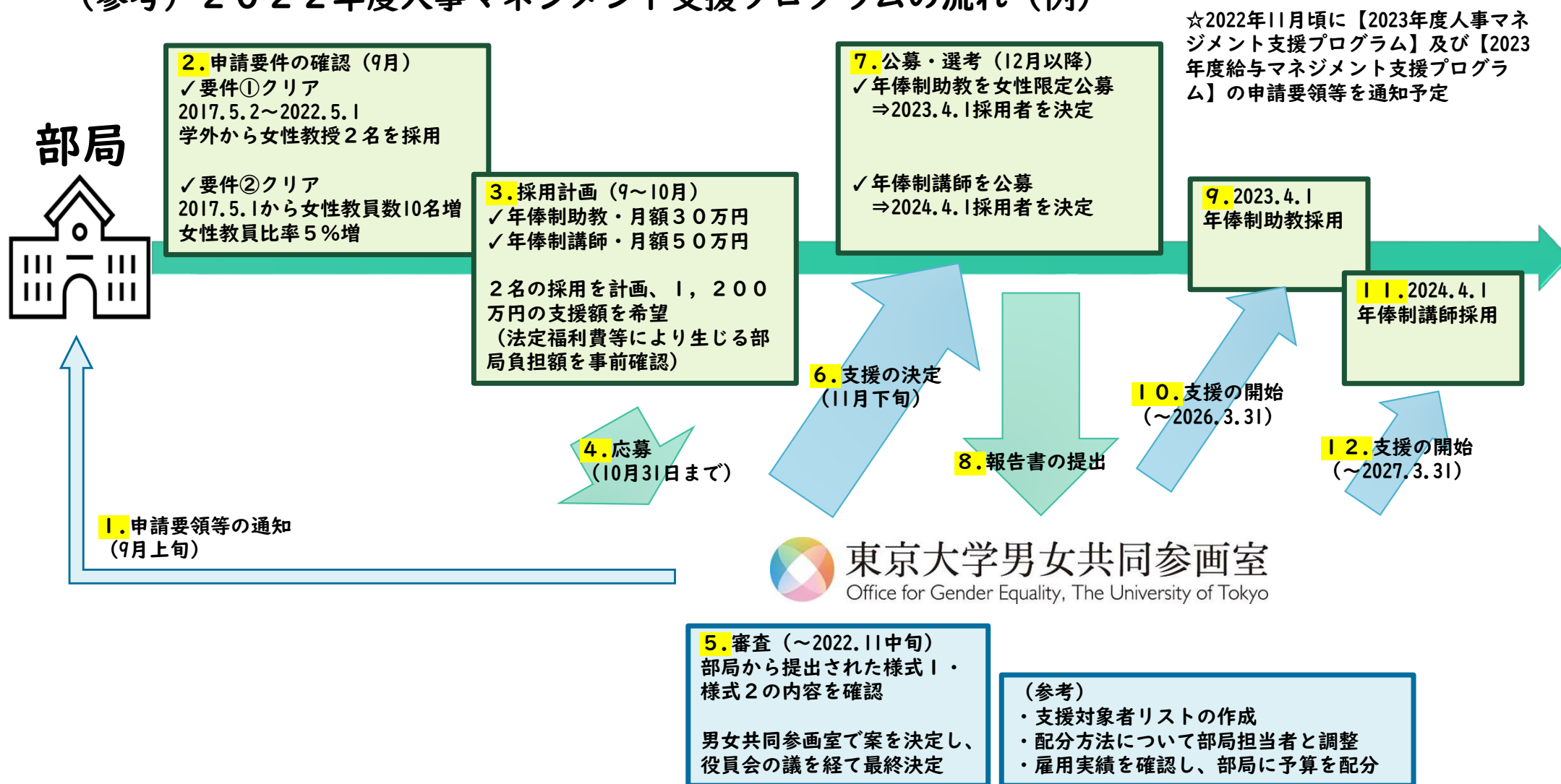
○部局長の裁量経費として女性限定公募を行う

○女性限定公募を行う専攻への支援

○女性教員が少ない分野への支援

等

(参考) 2022年度人事マネジメント支援プログラムの流れ (例)



ネーミングプランの設置について

20221020

○本学におけるネーミングプラン導入の経緯等

2016 年に、寄附に伴う永年の名称付与が増えすぎると、将来的に命名権収入増を図りづらくなるといった指摘があり、数年にわたる議論を経て、2020 年 1 月 9 日の科所長会議を経て制度化されたのが、ネーミングプランである。「寄附に伴う名称付与」は、永年で、建物の新築、改築の全部がその資金使途であるのに対し、「ネーミングプラン」は、有期（5 年程度）であり、かつ対象は既存の広場、部屋、スペース、ラウンジ等に限定され、「建物」に設定することはできない。一方、その資金使途の自由度は高い。寄附に伴う名称付与では建物名称に、企業名等は設定できないが、ネーミングプランは、対象の愛称に企業名、商標名、企業ロゴ、シンボルマーク等を付与する権利等を設定し、受け入れる資金である。運営費交付金の減少、物価高、コロナ対策など財政面における運営環境が厳しくなる中、法律で直接の収入源が制限されている国立大学法人にとって、ネーミングプランは国からも認められている数少ない財源多様化の手段として期待されている。ネーミングプランで得た収入は、教養 学部・総合文化研究科を支える財務基盤となり、教職員・学生サービス向上等に充てられる予定である。

○ネーミングプラン設定プロセスについて

本学では、協賛金等取扱要領（令和 2 年 5 月 13 日、社会連携本部長決定）、協賛事業選定委員会細則（令和 2 年 7 月 8 日、社会連携本部長決定）を定め、公募前ヒアリング→公募→事業者・愛称選定（部局）→協賛事業選定委員会を経る手続になっている。公募前ヒアリングの意向確認の過程で、愛称、意向表明事業者について、設定部局の各種会議等で審議されるため、意向表明事業者および愛称はこのプロセスで審査される。公募において、予期しない事業者の申込があった場合は、当該施設会管理部局長、事務（部）長、社会連携本部長、事務部長から構成される協賛事業選定委員会で審議となるため、「東京大学にとってふさわしくない事業者、愛称」があった場合は、受入不可にできる仕組みになっている。また、設定後も、名声リスクなどが発生した場合は、解除することができる。

○駒場図書館 1F ラウンジ

LED サイネージについて 駒場図書館 1F ラウンジの広さは 100 m²で、5 年間、総額 4400 万円（880 万円/年）の意向が示されている。理学部 1 号館共通講義室 285 が 196 m²で総額 1500 万円（300 万円 x 5 年）に比べ、平米単価/年が約 6 倍となっているのは、サイネージが外向きになっていることが大きく寄与している。当初の意向表明

事業者は、より大きなサイネージを要望していたが、駒場キャンパス全体の景観への配慮から、「南研究棟における店舗表示に関する考え方（平成 31 年 2 月 20 日、キャンパス計画室会議資料）」に基づき、

- ・愛称およびロゴの 2 要素のみ
- ・低層部（1F）のみで用いることとし、中高層部では使用しない
- ・窓全体を覆うような表示等は避け、開口部としての機能は妨げない
- ・色数や情報量を最小限に抑え、すっきりとしたデザインとして協議した結果、当初の要望のサイズの 4 分の 1、コーポレートカラーの着色（青色）はなく、白色となった。また閉館後（夜間）は消灯する

○10 号館 1 階 LL 教室・視聴覚資料室

10 号館 1 階 LL 教室・視聴覚資料室の広さは 110 m²で、3 年間、総額 600 万円(200 万円/年)+KOMCEE402 への AV システム(codmari 導入費用) 528 万円相当（3 年間のレンタル）の意向が示されている。前述の理学部 1 号館共通講義室 285 の平米単価/年が 1.5 万円に対し、本意向では 1.8 万円（現金分のみの評価）と本学実績と比べ標準価格帯のため、室内で内向きサイネージのみとした。

○設置に向けた手続き

2021 年 5 月 本部社会連携課と打ち合わせ

2021 年 7 月 1 日 専攻長・系長会議でプランのご紹介

2021 年 11 月 18 日 総務委員会・教授会でネーミングプランとサイネージ例のご紹介
～ 具体的な候補地の選定、関係者との議論

2022 年 7 月 21 日 専攻長・系長会議で図書館ラウンジ案のご紹介

2022 年 8 月 2 日 総合文化研究科図書委員会、駒場図書館運営評議会で承認

2022 年 9 月 12 日 キャンパス計画室駒場地区部会で承認

2022 年 9 月 16 日 キャンパス計画室で承認

2022 年 10 月 6 日 専攻長・系長会議で 10 号館 CAWK 案の頭出し

2022 年 10 月 6 日 総合研究棟管理委員会で承認

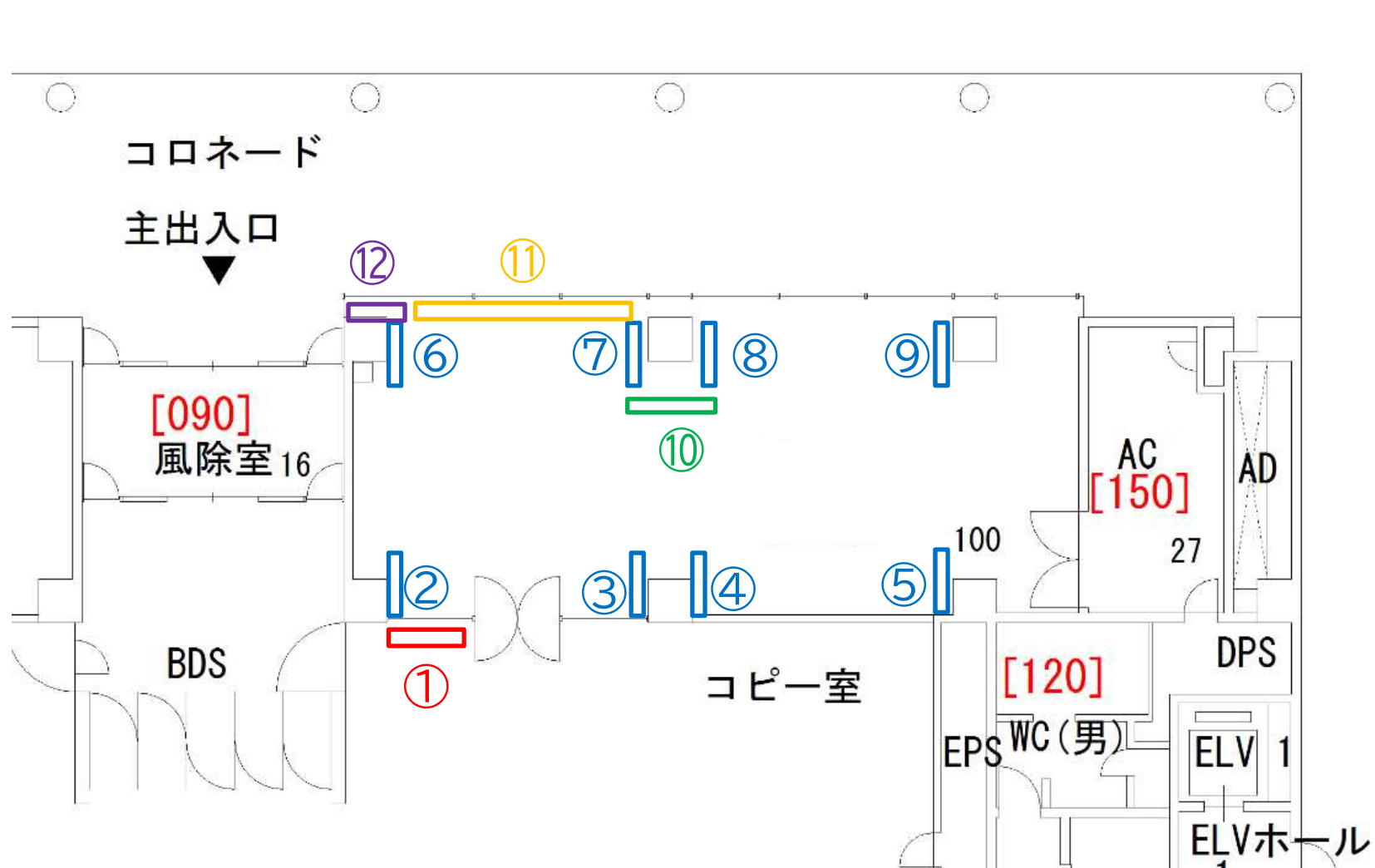
2022 年 10 月 6 日 CAWK 運営委員会でメール審議 承認

2022 年 10 月 20 日 総務委員会・教授会で審議

ネーミングプランサイン設置案

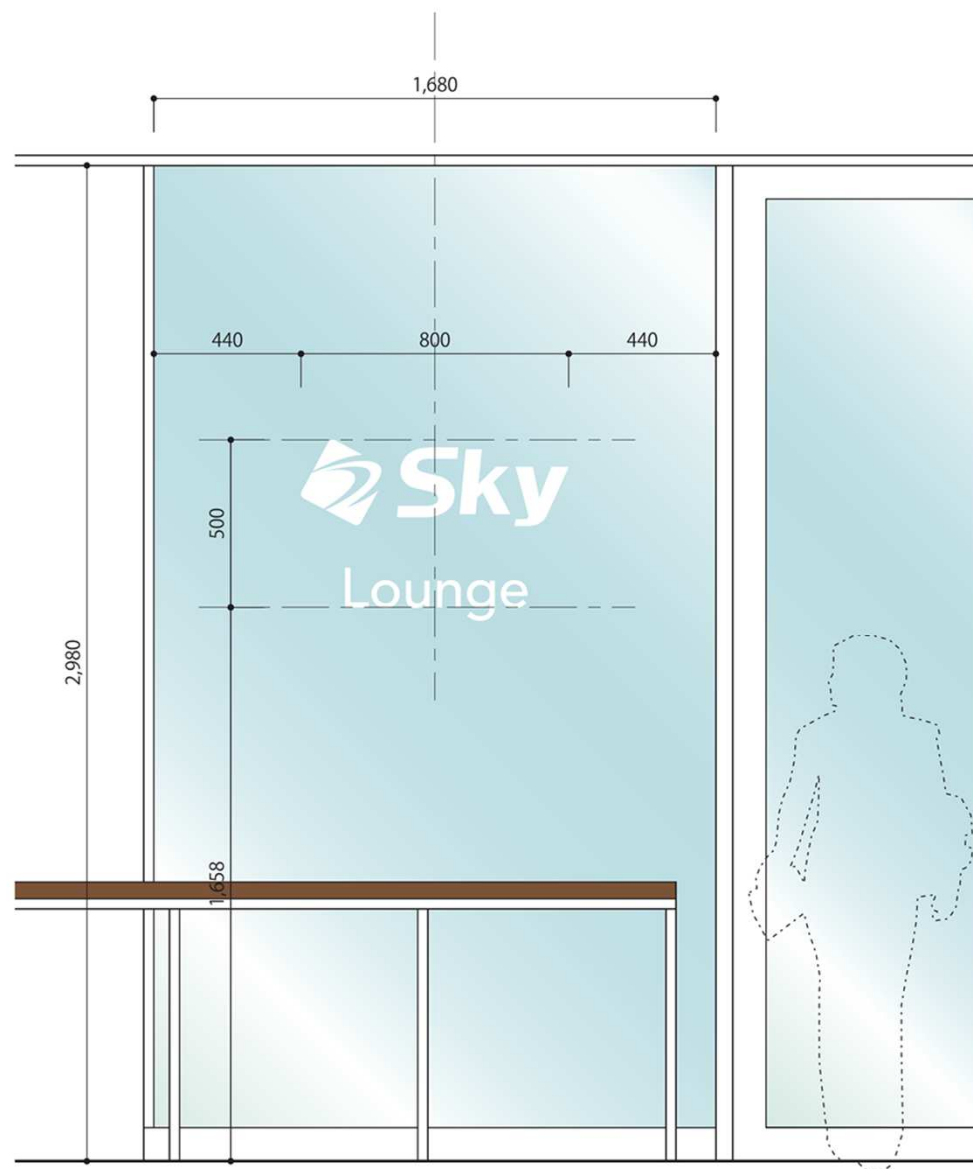
国立大学法人東京大学
駒場Ⅰキャンパス
■駒場図書館 1階 ラウンジ

命名案 Sky Lounge
(スカイ ラウンジ)



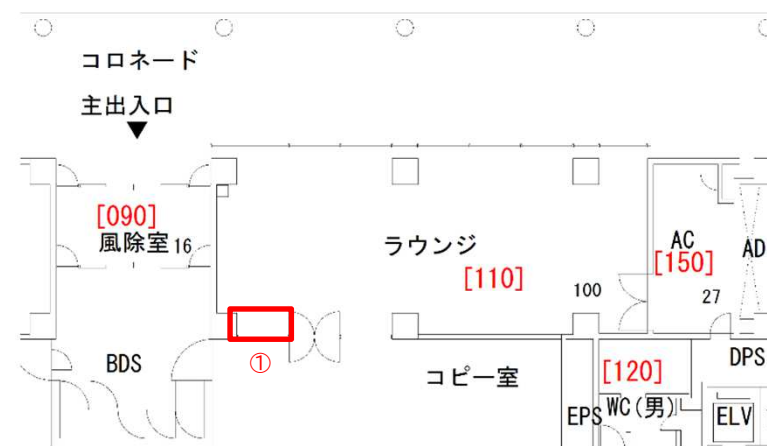
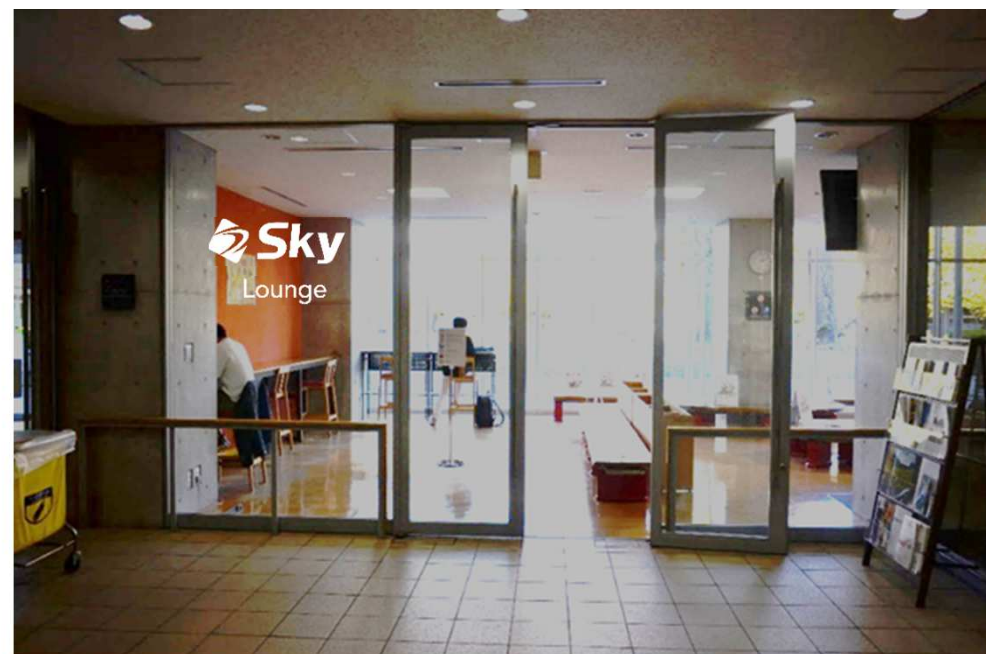
駒場Ⅰキャンパス 駒場図書館 1階 ラウンジ
①入口サイン設置イメージ

仕様
カッティングシート貼



シート加工貼 ホワイト

S=1/200 -



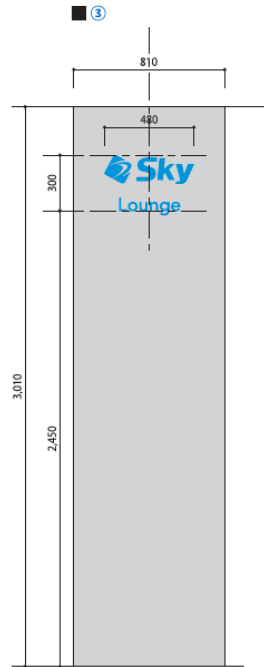
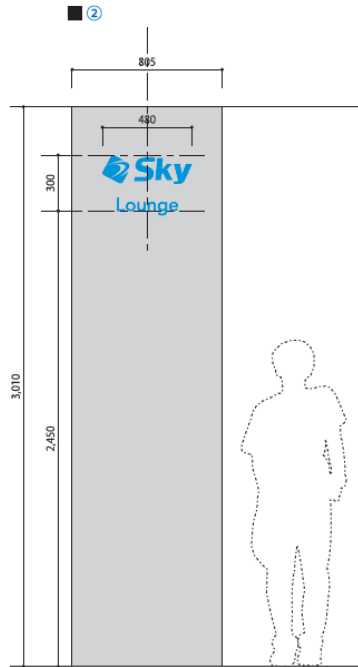
駒場 I キャンパス 駒場図書館 1階 ラウンジ ②～⑤室内柱(南側)サイン設置イメージ

国立大学法人 東京大学

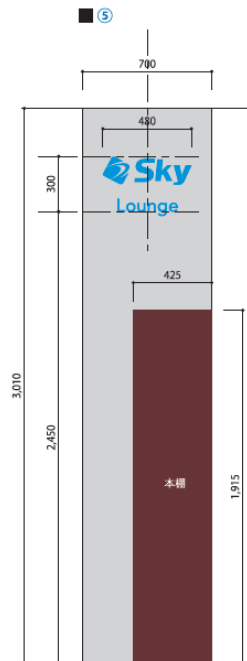
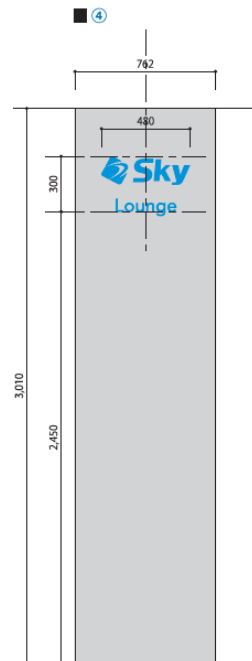
■コーポレートカラー

CMYK : C=100 M=20 Y=0 K=0
(DIC18 版 640)

駒場キャンパス 駒場図書館 1階 ラウンジ 室内柱(南側)
サイン設置イメージ

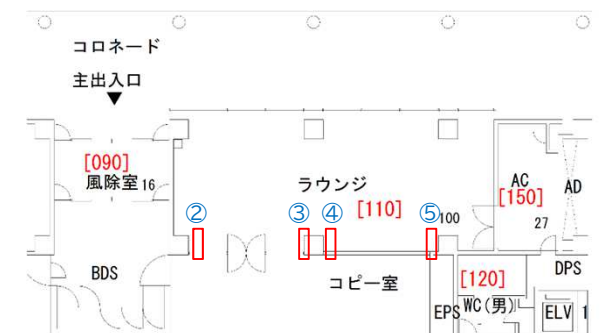
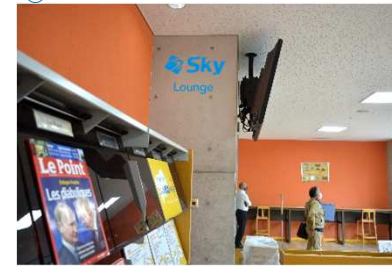


S=1.



- 64 -

S=1/20



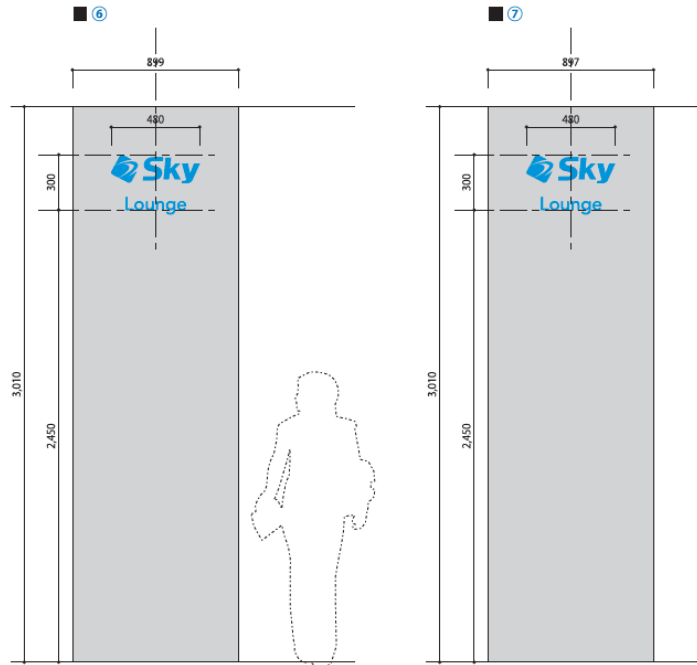
駒場 I キャンパス 駒場図書館 1階 ラウンジ ⑥～⑨室内柱(北側)サイン設置イメージ

■ コーポレートカラー

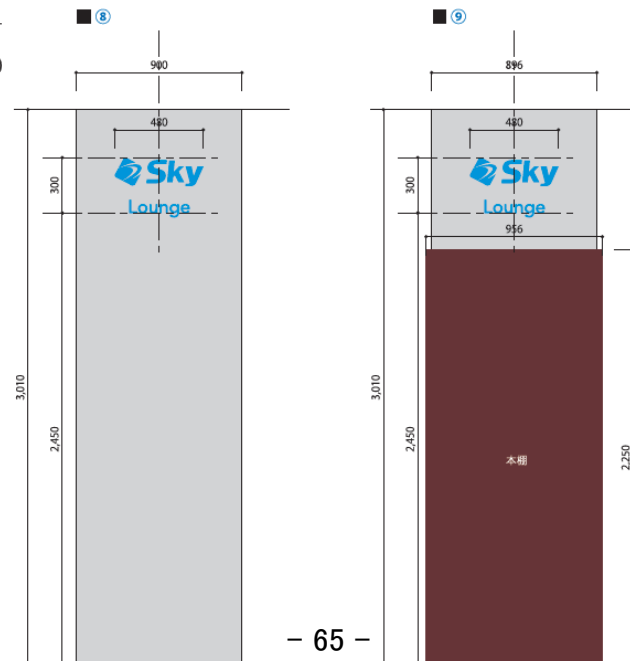
国立大学法人 東京大学

CMYK : C=100 M=20 Y=0 K=0
(DIC18 版 640)

駒場キャンパス 駒場図書館 1階 ラウンジ 室内柱(北側)
サイン設置イメージ



S=1/20



- 65 -

S=1/20



⑥



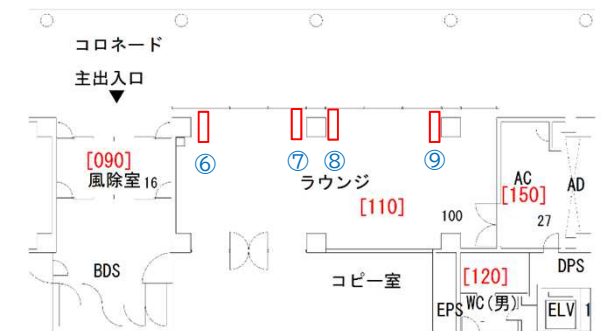
⑦



⑧



⑨



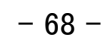
駒場 I キャンパス 駒場図書館 1階 ラウンジ
室内柱(北側)インフォメーションボード
設置イメージ⑩

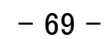


駒場Ⅰキャンパス

駒場図書館1階 ラウンジ サイン設置イメージ ⑪⑫









ネーミングプランサイン設置案

国立大学法人東京大学

駒場Ⅰキャンパス

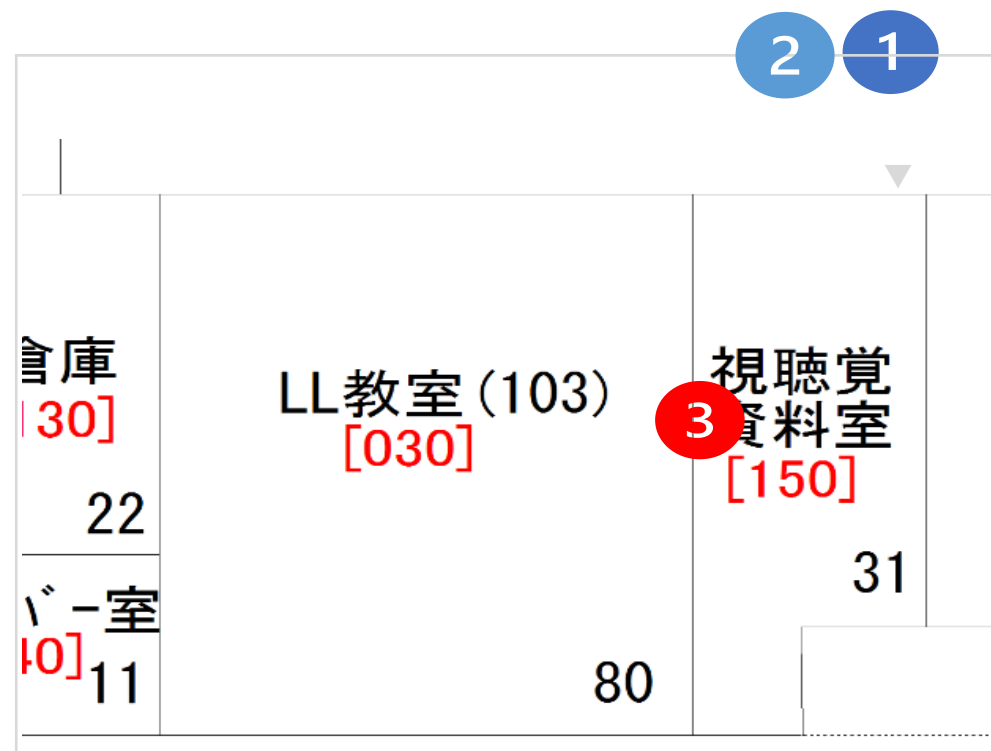
■10号館1階LL教室・視聴覚資料室

命名案 FCR Lab.

(Future Classroom Laboratory)

サイン設置位置

10 号館 1 階 LL 教室・視聴覚資料室



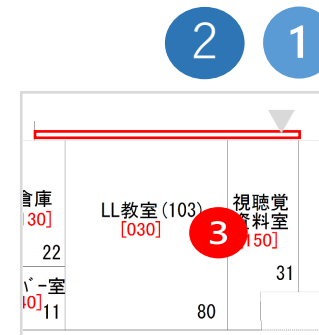
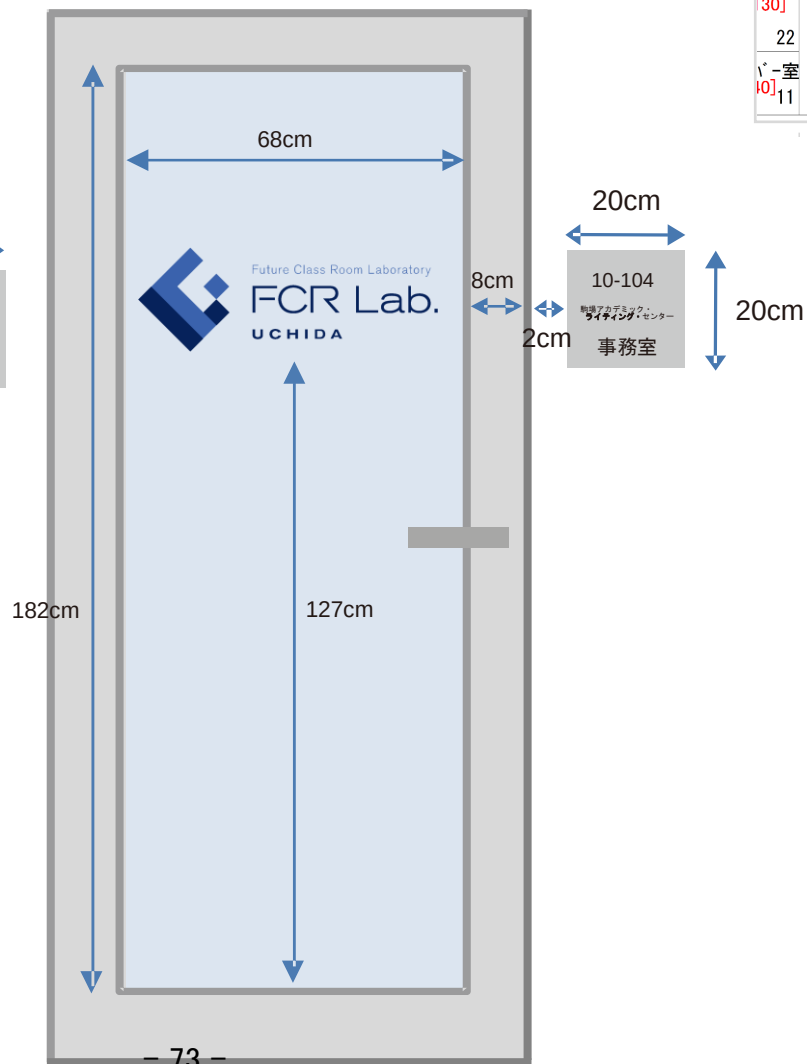
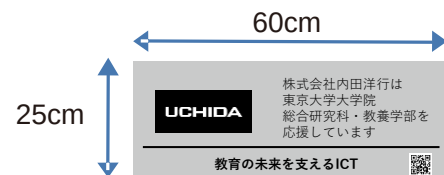
Entrance

銀杏並木側

10 号館 1 階 LL 教室・視聴覚資料室

1 事務室扉サイン イメージ

2 事務室扉横サイン イメージ



※画像はイメージです。

10 号館 1 階 LL 教室・視聴覚資料室

3 室内パーティションサイン イメージ

